

2017年全日本カート選手権統一規則 OK、FS-125部門

本選手権競技会は、一般社団法人日本自動車連盟（以下「JAF」という）の公認のもとにFIA国際モータースポーツ競技規則／国際カート規則およびその付則に準拠したJAF国内競技規則／JAF国内カート競技規則およびその付則、2017年（以下「当該年」という。）日本カート選手権規定、本統一規則、および競技会特別規則に従って開催される。

第1章 競技会開催に関する事項

第1条 開催日程、場所およびオーガナイザー
競技会毎に示す。

第2条 競技会組織委員会および審査委員会
特別規則書にて示す。

第3条 競技会競技役員
特別規則書にて示す。

第4条 競技会事務局
1. 第1条に示してある各々のオーガナイザーとする。
2. 開催場所所在地および当日の事務局所在地は公式通知にて示す。

第5条 競技の種別、区分と格式
1. 種目：スプリントレース
2. 区分：OK部門、FS-125部門
3. 格式：国内格式

第6条 公式通知に関する規定
本統一規則および特別規則に記載されていない競技運営に関する実施細目およびエントラント、ドライバー、ピット要員に対する指示事項は、公式通知によって示され公示は次の方法による。
1. 開催期日の前日まで競技会事務局内に提示されるとともにエントリー申込書に記入してあるエントラントの連絡先に送付する。
2. 開催当日
開催場所の事務局設置場所。

第7条 クレデンシャルの着用
本競技会に関係する全ての者は、場内ではオーガナイザーが発行したクレデンシャルを着けなければならない。

第8条 延期、中止または取止めおよび変更に関する事項
「カート競技会組織に関する規定」第6条に基づき、オーガナイザーは、競技会審査委員会の承認を得て競技会の一部

あるいは全部を延期し、中止し、または取止めることができる。競技会の全部を中止し、あるいは24時間以上延期する場合は、エントリー・フィーは保険料を除き全額返還される。但し天災地変の場合はこの限りでなく、保険料は返還されない。

なお、エントラントおよびドライバーはこれによって生じる損失についてオーガナイザーに抗議する権利を保有しない。さらにオーガナイザーは、審査委員会の承認を得てイベントの内容を変更する権限も、併せて保有するものとする。これに対する抗議は認めない。

第2章 競技会参加に関する事項

第9条 エントリーの受付

1. エントリーの受付期間
 - 1) エントリーの受付期間
競技会開催日2ヶ月前より3週間前まで。
 - 2) 郵送によるエントリーの受付
競技会開催日2ヶ月前より3週間前までの消印有効。但し、書留にて郵送する。
 - 3) 受理または拒否の通知の発送日
競技会開催日の2週間前から開催当日を除き5日前までの消印をもって発送する。
2. エントリーの受付時間
AM9:00～PM5:00
3. 受付場所
第1条に示してある各々のオーガナイザーとする。
4. エントリーする際に必要なもの
 - 1) 参加申込書
 - 2) 競技会参加に関する誓約書
 - 3) ピット要員登録申込書
 - 4) エントリー・フィー
 - 5) 車両申告書

第10条 エントリー・フィーおよびピット登録料
特別規則書にて示す。

第11条 保険

1. オーガナイザーの付保する保険とは別にドライバー900万円、ピット要員1名400万円以上のカート競技に有効な保険に加入していなければならない。
2. オーガナイザーの付保する保険の内容（保険料、保険金、保険金支払の方法）については、特別規則書に示される。

第12条 エントリーの方法

1. 本選手権競技会にエントリーする者は、エントラントの統轄のもとにエントリーしなければならない。
2. ピット要員はドライバー1名につき2名以内とする。

第13条 エントリーの資格

1. エントラント：

当該年度有効なるエントラントライセンスの所持者。
2. ドライバーの出場資格：

全日本選手権競技に出場するドライバーは、部門毎に以下の条件を満たしていること。

ドライバーが出場できる地域および参加部門は何かの地域ならびに部門に限定され、シリーズの途中で変更することはできない。

 - 1) OK部門：
 - (1) 国際Bドライバーライセンス以上の所持者。
 - (2) 国際Cおよび国内Aドライバーライセンス所持者については、下記の何れかの実績を満たす者。
 - ①当該年の前年の全日本選手権のKF部門に出場した実績ある者。
 - ②過去の全日本選手権SuperKF部門、KF1部門あるいはKF部門で、年間総合順位が10位以内であった者。
 - ③当該年の前年の全日本選手権FS-125部門で、年間総合順位が10位以内の者。
 - ④JAFによって特に認められた者(海外での実績等)。
 - 2) FS-125部門：
 - (1) 国内Aドライバーライセンス以上の所持者。
 - (2) ジュニアAまたはジュニア国際ドライバーライセンス所持者(満14歳以上または当該年に満14歳になる者)で、下記のいずれかの実績を満たし、かつJAFによって特に認められた者。
 - ①当該年の前年の地方選手権シリーズ(地域・コース)のFS-125部門で5位以内となった者。
 - ②当該年の前年のジュニアカート選手権シリーズのFP-Jr部門で1位となった者。
 - 3) 東西統一競技会FS-125部門：
 - (1) 当該年の東地域、西地域夫々で開催された全日本選手権の地域シリーズ競技会の何れかの部門に出場した実績を有する者。
 - (2) 出場できる部門は、ドライバーが当該年に出場した部門に限定する。
3. 同一競技会へのダブルエントリーは禁止される。

第14条 エントリーの受理と拒否

1. オーガナイザーは、理由を示すことなくエントリーの受理を拒否することができ、かつその行為をもって最終の決定とする。この場合エントリー・フィーおよび保険料は全額返還される。
2. エントリーの正式受理または拒否通知は、本統一規則第9条1.3)に示す期間内に、エントラント宛に発送される(「カート競技会組織に関する規定」第23～26条)。
3. エントリーの正式受理の発表後参加を取り消した者に対してはエントリー・フィーを返還しない。

第15条 シャシー、エンジンおよびタイヤの登録

競技に使用するシャシー、エンジンおよびタイヤは、車両申告書に登録済みのもののみとする。登録できる個数は1競技会につき下記の通りとする。

	OK	FS-125
シャシー	2台	1台
エンジン	2基	1基
タイヤ	2セット(ドライ・ウエット)	1セット(ドライ・ウエット)

但し、タイヤについては1レースにつき1セットのみ使用可能とする(下表の通り)。公式練習は、登録していないタイヤを使用することができる。

OK			
公式練習	登録していないタイヤを使用することができる。		
タイムトライアル	1セット		
第1レース			予選ヒート
			セカンド チャンスヒート
	決勝ヒート		
第2レース	予選ヒート	1セット	
	セカンド チャンスヒート		
	決勝ヒート		
FS-125			
公式練習	登録していないタイヤを使用することができる。		
タイムトライアル	1セット		
予選ヒート			
セカンドチャンスヒート			
決勝ヒート			

第3章 エンジンおよびカートに関する事項

第16条 エンジン

1. エンジン
 - 1) OK部門：

「JAF国内カート競技車両規則」および当該年の全日本選手権OK部門適用車両規定に合致したCIK-FIAまたはJAF公認エンジン。
 - 2) FS-125部門：

「JAF国内カート競技車両規則」および当該年の全日本選手権FS-125部門適用車両規定に合致したJAF登録エンジンで、JAFが指定したワンメイクエンジンとする。

・東/西地域：IAME PARILLA X30
2. 変更(交換)

登録済みエンジンが故障、破損等した場合には、競技会審査委員会の承認のもとに、以下を条件に1競技会に1回

変更（交換）することができる。なお、変更（交換）の申請は、各ヒートのスタート20分前までとし、競技会事務局に提出すること。

(1) 変更（交換）後のヒートのグリッドポジションは、最後尾（複数名の場合、最も遅く申告した者を最後尾とする）とする。

(2) 再登録料（特別規則書にて示す）

3. 封印（マーキング）

封印（マーキング）が外れそう（消えそう）な状態になった場合は、事前に技術委員長に申し出ること。

封印（マーキング）に関する故意の違反があった場合には当該競技会は失格とする。

なお、違反の内容によっては当該年度の選手権の全得点を無効とする場合がある。

1) OK部門

(1) 車検時においてエンジン（エンジン・クランクケース下部1/2およびシリンダー）のマーキングが実施される。

(2) 第1レースの公式練習開始時間前までは、技術委員長の承認のもとにエンジンの再登録またはエンジンへの再マーキングが認められる。

2) FS-125部門

(1) シリンダーヘッドナット・ケーススタッドボルト等には車検の際の封印のための穴をそれぞれ1つ施さなければならない。

(2) 車検時においてエンジンの封印が実施される。封印マークはJAF指定のものとし、封印後はエンジンの分解は行ってはならない。

(3) 公式練習開始時間前までは、技術委員長の承認のもとにエンジンの封印の解除、および再登録または再封印が認められる。

尚、エンジンについては、公式練習開始後から決勝終了までの間、技術委員長の承認のもとに封印の解除および再封印が認められる。

4. エンジンはNo. 刻印が打たれていなければならない。

第17条 カート

前条で規定する当該エンジンを搭載し、「JAF国内カート競技車両規則」に合致する第1種競技車両で、かつ次の条件を満たさなければならない。

1. シャシーは、以下の条件を満たすこと。また、車検時においてシャシーにJAF指定の封印が実施される。但し、公式練習開始時間前までは、技術委員長の承認のもとにシャシーの封印の解除、および再登録、再封印が認められる。

使用するシャシーは、CIK-FIA公認またはJAF公認を取得している製造者によって製造されたものとする。ただし、フロントブレーキの装着は禁止する。

2. カートは、前方、後方および側方から明瞭に識別できるよう、競技ナンバーを取り付けなければならない。

3. ナンバープレートは前後に必備とする。その取り付け方および形状については「JAF国内カート競技車両規則」第9条1. および第28条による。側方のナンバーは最小高15cmとする。なお、前方にはフロントパネルを装着しなければならない。

ナンバープレートの色は次の通りとする。

部門	ナンバープレートの色	文字の色
OK	黄	黒
FS-125	黄	黒

4. 競技ナンバー

1) 前後の競技ナンバーは、JAFが指定したものを、検査を受ける前に取り付けていなければならない。

2) 側方の競技ナンバーは、JAFが指定したものを、サイドボックスパネル上の後輪側に、検査を受ける前に取り付けていなければならない。

5. フロントバンパーは必備とし、その取り付け方については「JAF国内カート競技車両規則」第7条による。

6. チェーンガードは必備としその取り付け方および形状については「JAF国内カート競技車両規則」第12条による。

1) 幅は3cm以上あり車両上方から見てチェーンが見えない状態であること。

2) エンジン側スプロケットとアクスル側スプロケットを結ぶ線の上の部分の有効に覆っていること。

3) 車両側方より見てエンジン側スプロケットが見えない状態であること。

4) ドライブスプロケットがキャブレターによって見えない状態の車両においては、キャブレターの調整のためのニードル部分とチェーンとの間を覆っていること。

7. 雨天の場合、吸気消音器にカバー等を装着することができる。

8. 排気装置については「JAF国内カート競技車両規則」第22条による。

OK部門で使用するマフラーは、図21に合致した単一排気装置とする。

FS-125部門で使用するマフラーは、当該年の全日本カート選手権FS-125部門適用車両規定に示すものとする。

なお、登録するマフラーの公認書は参加者が用意すること。

9. 音量規制については「JAF国内カート競技車両規則」第23条によるものとし、タイムトライアル時78dB(A) + 3dB(A) を越えるものについてはタイムトライアルのみの時間に次の時間を加算し各ヒートへのペナルティは課されない。

音量	加算時間
81.5dB以上82dB未満	0.25秒
82dB以上82.5dB未満	0.5秒

82. 5dB以上83dB未満	1秒
83dB以上83. 5dB未満	2秒
83. 5dB以上84dB未満	4秒

84dBを含み84dBを超えるドライバーはレースから除外される。

10. 競技に使用するタイヤは次の条件に合致したものとす。OKおよびFS-125部門で使用するタイヤは、下記5)に定めるディストリビューション制とする。

1) 各部門に使用できるタイヤは次の通りとする。

(1) 銘柄、サイズ、コンパウンド

●OK部門：

- ①当該年に有効なC I K-F I A公認タイヤを製造している製造者によって製造されたタイヤとし、銘柄は自由。
- ②ドライとウエットの銘柄は同一とする。
- ③タイヤの銘柄は、当該ドライバーが当該年に最初に使用した銘柄に限定する。
- ④ドライバーは、予めエントリー申込書に使用するタイヤの銘柄を記入する。エントリー受付締め切り後の銘柄の変更は認められない。エントリー受付締め切り前の銘柄の変更はオーガナイザーが指定する所定の用紙にて行うことができる。

例) 銘柄とはBridgestone、Dunlop、Yokohama/Advan等を指す

●FS-125部門：

- ①J A Fによって指定された単一製造者の当該年に有効なC I K-F I A公認タイヤを製造している国内タイヤ製造者のC I K公認タイヤを使用しなければならない。

・東/西地域：住友ゴム工業株式会社

<ドライ用>DFH<ウエット用>KT14W13

(2) セット数

全部門とも、ドライ、ウエット各1セットのみとする。但し、技術委員長の承認のもとに、各1本のみの交換が認められる。

2) 急激な天候の変化のあった場合には、競技会審査委員会の判断により、ウエットタイヤに限り、全選手に追加1セットの交換を認める場合がある。但し、交換は当該ドライバーの任意とする。

3) タイヤはいかなる場合もグルーピングを含み一切の加工は禁止される。

4) タイヤにはオーガナイザーが指定したゼッケン番号を技術委員によってタイヤの両側面に記入される。

文字の字体は幅3mm以上の字画で高さ30mm以上とする。

部門	色
OK	白
FS-125	桃

5) OK部門およびFS-125部門で使用するタイヤのディストリビューションは、特別規則書又は公式通知にて示される時間帯にオーガナイザーが指定した場所にて、競技会審査委員1名の立ち会いのもと次の要領で行うものとし、詳細事項は特別規則書又は公式通知に示す。但し、ウエットタイヤおよび交換タイヤ1本は除外する。

(1) OK部門

- ①ドライバー（またはタイヤ製造者）は、エントリーの際に申告した当該競技会で使用する銘柄の未使用ドライタイヤ（例：パッケージ済）をオーガナイザーが指定した場所に預け入れ、受領書を受け取る（ドライバーに引き換え証を発行する）。
- ②オーガナイザーは、同一の銘柄、モデルおよびコンパウンド毎にシャッフルを行う。
- ③オーガナイザーは、提示されたタイヤの両側面にマーキングする。
- ④オーガナイザーは、受領書（引換証）と引き換えに当該ドライバー（またはタイヤ製造者）が預け入れた同一の銘柄、モデルおよびコンパウンドのタイヤ（両側面および接地面裏面マーキング済）を手渡す。
- ⑤タイヤのリムへの取り付けは、各自のパドックで行うこととする。
- ⑥分配されたタイヤをパドック外へ持ち出すことは認められない

(2) FS-125部門

- ①ドライバー（またはタイヤ製造者）は、当該競技会で使用する未使用ドライタイヤ（例：パッケージ済）をオーガナイザーが指定した場所に預け入れ、受領書を受け取る（ドライバーに引換証を発行する）。
- ②オーガナイザーは、シャッフルを行う。
- ③オーガナイザーは、提示されたタイヤの両側面にマーキングする。
- ④オーガナイザーは、受領書（引換証）と引き換えに当該ドライバー（またはタイヤ製造者）が預け入れた同一の銘柄、公認番号のタイヤ（両側面および接地面裏面マーキング済）を手渡す。
- ⑤タイヤのリムへの取り付けは、各自のパドックで行うこととする。
- ⑥分配されたタイヤをパドック外へ持ち出すことは認められない。

11. ホイール

- 1) リムの直径は最大5インチとする。
- 2) ホイールはリムの外側に3本以上のペグで固定した何らかの形のビードを備えることが推奨される。

12. キャッチタンク

走行中に燃料タンクからの燃料漏れを防止するために有効な装置を必備とする。

但し、燃料漏れを防止する装置がタンクキャップ等に装備されていることが仕様書等によって証明された場合に

はそれを有効な装置とみなす。

13. 競技中、車両にテレメトリー（データを発信する装置）の装着を禁止する。技術委員に承認されたデータロガー（データ蓄積装置）およびタコメーターの使用は可能とする。但しデータロガー用トランスミッター（発信器）の設置場所はコース外とし、オーガナイザーによって承認された場所のみとする。テレコミュニケーション（遠隔通話装置）の使用は禁止する。これらの事項に対する抗議は一切受け付けられない。

第18条 ボディワーク

「JAF国内カート競技車両規則」第7条および第9条に従った、C I K-F I A公認（2006-2011、2009-2014、2012-2017、2015-2020）サイドボックス、フロントフェアリング、フロントパネル、リアプロテクションは、ステー等の公認部品を含み必備とする。

尚、異なる銘柄またはモデルの構成部品による3つのボディワークによる組み合わせが認められる。但し、2つのサイドボックスはセットで共に使用すること。

1. サイドボックスはシャシーに最少2ヶ所で強固に固定されなければならない。その取り付け方は、「JAF国内カート競技車両規則」に従うものとする。
2. 全ての部門の車両は、2015-2020のC I K-F I A公認フロントフェアリング取付キットの使用が義務付けられる。
3. リアプロテクションの取り付け方については「JAF国内カート競技車両規則」第7条による。

第19条 重量

最低重量は次の通りとする。

部門	最低重量
OK	145kg
FS-125	155kg

最低重量を満たすためバラストを積む必要がある時はすべて固形材料を用いボルト・ナットで取付けなければならない。

第20条 燃料

1. ガソリン：
 - 1) 「JAF国内カート競技車両規則」第25条に則った通常のガソリンスタンドのポンプから販売されている無鉛ガソリンを使用しなければならない。
 - 2) オーガナイザーは、ガソリンの銘柄および供給方法等を指定する場合がある。この場合の詳細事項は、特別規則書又は公式通知に示す。
2. エンジンオイル：
 - 1) 通常市販されている当該年度のC I K-F I A承認オイルのみとし、それ以外の添加物の使用は一切認められ

ない。

3. 検査：

ガソリンおよびエンジンオイルについて、予告なく抜き打ち検査（タンク内の燃料を採取する等）を行う場合がある。この場合、エントラントは、必ずその指示に従わなければならない。

第21条 車両検査

1. 「カート競技会参加に関する規定」第12条に基づき、車両検査が行われる。この際規則に不適合な部分があるながらも、技術委員に発見されなかった場合であっても承認を意味するものではなく、レース中にそれに関する疑義が生じた場合は旗の指示を受ける場合がある。
2. 車両検査の日時および場所は特別規則または公式通知によって示される。
3. ドライバーは、車両検査に立ち会わなければならない。
4. ドライバーの服装に関しては「カート競技会参加に関する規定」第11条を適用する。また車両検査時においては、技術委員の点検を受けるものとする。レーシングスーツは皮製またはC I K-F I A公認またはJAF公認のものとする。
5. 技術委員長は、各車両に対し、点火装置の作動確認用測定器の装着を指示する場合がある。当該指示のあった場合は測定器の装着指示に従わなければならない。本件に関する抗議は認められない。詳細事項は競技会特別規則または公式通知にて告知される。
6. 技術委員長は、競技会審査委員会の指示に基づき、エントラントに対し当該車両の点火装置を技術委員長の指定する同一型式の他のものに交換させる場合がある。当該指示のあった場合は交換作業に従わなければならない。本件に関する抗議は認められない。
7. 各ヒート終了時には「JAF国内カート競技車両規則」に定める必備の部品が備わっていること。
8. 「カート競技会運営に関する規定」第31条に基づき、レース後トラック上で計量が行われる。

第4章 競技に関する事項

第22条 ブリーフィング

競技長は公式練習に先立ち、競技会審査委員会の出席を得て、エントラントおよびドライバーを対象としたブリーフィングを開催する。

すべてのエントラントおよびドライバーはブリーフィングに出席し、かつ出席表に署名しなければならない。

ブリーフィングに遅刻、欠席した場合は、オーガナイザーが定める再ブリーフィング料を支払い、再ブリーフィングを受けなければならない。

第23条 公式練習

「カート競技会運営に関する規定」第23条および第24条に基づき、最低10分間の公式練習を行う。但し、ピットアウトしスタートラインを通過する前に本コースで停止した場合も、公式練習に参加したものと認められる。

第24条 タイムトライアル

1. すべてのドライバーは、タイムトライアルに参加しなければならない。タイムトライアルに参加しない場合はタイムトライアル失格とし、予選ヒートは最後尾スタートとなる。
2. タイムトライアルのグループ分け
 - 1) 出場台数が当該競技開催コースの最大出走台数の70%（小数点以下四捨五入）以内の場合：

グループ分けはせずに7分間のタイムトライアルを行う。
 - 2) 出場台数が当該競技開催コースの最大出走台数の70%（小数点以下四捨五入）を超える場合：
 - ①1グループの出走台数が最大出走台数の70%（小数点以下四捨五入）を超えず、かつ可能な限り同数となる複数のグループに分けられ、各グループ7分間のタイムトライアルを行う。
 - ②グループ分けは、競技会当日の参加確認受付時に抽選により決定し、ドライバーズブリーフィング開始時までに公式通知にて行う。
3. ドライバーは、タイムトライアルとして設定された時間内であれば任意に出走し、時間内であれば途中で停止した場合も再トライすることができる。但し、ピットに戻った場合は再トライすることはできない。
4. タイムトライアル中の計測は、コースイン後にスタートラインを通過したカートに対して全てのラップを計測し、ベストラップのタイムを採用する。
5. 上記4. で記録したベストラップが同タイムの場合は、当該ドライバーが記録したセカンドラップを採用する。
更に同タイムとなった場合もこれに準ずる（サードラップ以降のタイム）。
6. その他の方法で行う場合は公式通知に示す。（不可抗力により上記1.～5. が採用できない場合）

第25条 選手権競技の方式

1. OK部門：

競技は2レース制（公式練習・タイムトライアル・第1レース予選1ヒート・第1レース決勝1ヒート→第2レース予選1ヒート・第2レース決勝1ヒート）とし、決勝ヒートの結果により最終順位を決定する。
出場台数によっては、予選ヒート終了後セカンドチャンスヒートを実施する。
2. FS-125部門：

競技は1レース制（公式練習・タイムトライアル・予選1ヒート・決勝1ヒート）とし、決勝ヒートの結果により

最終順位を決定する。出場台数によっては、予選ヒート終了後セカンドチャンスヒートを実施する。

第26条 予選ヒート

1. 予選ヒートのグリッドポジション
 - 1) ケースA：

タイムトライアルでグループ分けが無かった場合、各ドライバーが記録した最速タイムの順番による。
 - 2) ケースB：

タイムトライアルでグループ分け（2組）があり、一方の組の最速タイムと別の組の最速タイムの差が102%を超えない場合、出走したグループに関わらず、各ドライバーが記録した最速タイムの順番による。
 - 3) ケースC：

タイムトライアルでグループ分け（2組）があり、一方の組の最速タイムと別の組の最速タイムの差が102%を超える場合、1位は第1組の最速タイム（総合最速タイム）とし、2位は第2組の最速タイム、3位は第1組で2番目に速いタイム、4位は第2組で2番目に速いタイム、5位は第1組で3番目に速いタイム、以下同様に決定する。
 - 4) ケースD：

更にタイムトライアルでのグループ分け（3組以上）があった場合、上記2）および3）の原則に従い、決定する。
 - 5) なお、OK部門においては、夫々の予選ヒートに上記が適用される。
2. 予選のグループ分けと決勝出場者の決定
 - 1) ケースA：

出場台数が当該競技開催コースの最大出走台数以内の場合、グループ分けは行わず、ポイントの多い順に決勝出場者を決定する。
 - 2) ケースB：

当該競技開催コースの最大出走台数を超える出場台数があった場合は、予選を2グループ以上に分けて予選ヒートを行う。2グループに分ける場合は、Aグループをタイムトライアル奇数順位、Bグループを偶数順位とし、Aグループ予選の結果、両グループのポイントの多い順に下表の通り決勝出場者を決定し、これ以下の者は予選落ちとなる。

当該競技開催コースの最大出走台数	最大出走台数を超える出場台数があった場合の決勝出場台数
34台	28台
32台	26台
30台	25台
28台	23台
26台	21台
24台	20台

3. ヒートポイント

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
得点	100点	90点	81点	73点	66点	59点	53点	48点	43点	39点
順位	11位	12位	13位	14位	15位	16位	17位	18位	19位	20位
得点	35点	31点	28点	25点	23点	21点	19点	17点	15点	13点
順位	21位	22位	23位	24位	25位	26位	27位	28位	29位	30位
得点	12点	11点	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点
順位	31位	32位	以下0点							
得点	2点	1点								

1) ペナルティポイントがあった場合は、下位の順位のポイントまで減算される。

但し、最下位ポイントを限度とする。その他の選手の順位の移動（繰り上げ、繰り下げ）はない。

2) 失格者

失格者は最下位となる。ポイントも最下位ポイント（何名いても）となる（Aグループのグリッド数に準ずる）。

3) 不出走者

不出走者は最下位より1位下の順位のポイントとなる。但し、0点を限度とする。

4. 予選ヒートの走行距離は次の通りとし、周回数は競技会毎に示す。

1) OK部門：

15 km（または15分）以上45 km（45分）以内。

2) FS-125部門：

15 km（または15分）以上30 km（30分）以内。

5. 決勝進出台数は当該競技開催コースの最大出走台数とし、競技会毎に示す。

第27条 セカンドチャンスヒート

1. セカンドチャンスヒートの出場資格

前条2. 2) の予選ヒートを通過しなかった者は、予選ヒートのポイントの多い順に下表の通りセカンドチャンスヒートに出場し、当該競技開催コースの最大出走台数に応じて決勝に出場する資格を得ることができる。

当該競技開催コースの最大出走台数	セカンドチャンスヒートの結果により決勝に出場できる台数
34台	上位6台
32台	上位6台
30台	上位5台
28台	上位5台

26台	上位5台
24台	上位4台

2. セカンドチャンスヒートの走行距離は次の通りとし、周回数は競技会毎に示す。

約10 km（または約10分）。

第28条 決勝

1. 決勝の出場資格とグリッドポジション

1) ケースA：

(1) 予選ヒートがケースAで実施された場合、予選を通過した者は全て決勝に出場できる。

(2) グリッドポジションは、予選でのポイント（ペナルティポイントは減算）の多い順とし、同ポイントの場合はタイムトライアルの成績による。

2) ケースB：

(1) 予選ヒートがケースBで実施された場合、予選を通過した者とセカンドチャンスヒートにより決勝の出場資格を得た者が決勝に出場できる。

(2) グリッドポジションは、予選でのポイント（ペナルティポイントは減算）の多い順とし、同ポイントの場合はタイムトライアルの成績による。セカンドチャンスヒートで決勝の出場資格を得た者は、当該ヒートの順位に従い、後方の位置を占める。

2. 決勝も予選と同様のポイントシステムとし、ペナルティポイントがあった場合は減算される。決勝に限り、失格者と不出走者に対しては、ポイントは与えられない。

同ポイントの場合は着順により最終順位が決定される。

3. 決勝ヒートの走行距離は次の通りとし、周回数は競技会毎に示す。

1) OK部門：

15 km（または15分）以上45 km（45分）以内。

2) FS-125部門：

15 km（または15分）以上30 km（30分）以内。

4. 青・赤旗の採用

OK部門の決勝ヒートにのみ次の通り適用される。

1) 周回遅れのドライバーおよび周回遅れになろうとしているドライバーに対し、[青・赤旗（2重対角線で区分）] が示され、決勝ヒートから除外される。

2) 青・赤旗は競技長の指示によりコントロールライン上で示される。旗の提示を受けたドライバーは、その周回で車両保管場所（パルクフェルメ）に移動し、ラップされた周回のコントロールライン通過まで、レースを終了したものとする。

車両保管場所（パルクフェルメ）に移動しない場合には、黒旗（当該ヒート失格）の対象となる。

第29条 スタート進行

スタートは「カート競技会運営に関する規定」第28条2. に基づくローリングスタートとし、次の事項が適用される。

1. スタートの合図は灯火信号によって行われる。
2. スタート進行は以下に従い行われる。
 - 1) 競技会特別規則書または公式通知により指定された時間に所定の待機場所に着くこと。このとき合図音およびアナウンスが放送される。
 - 2) 所定の待機場所への進入はフォーメーションラップ5分前に締め切られ、「3min」ボードが示されるまでにカートが所定の場所に着いていなければならない。審査委員会が認めた場合を除き、5分前までに所定の待機場所に進入できなかったカートの出走は認められない。
 - 3) フォーメーションラップの開始は、以下のボード提示に続いて行われる。これらのボードの提示は合図音とともに行われる。

3min

1min

30sec

- 4) 「3min」ボードが示される時点で、ドライバーおよび当該ピット要員1名、オフィシャルを除くすべての者は当該エリアから離れなければならない。
- 5) 「1min」ボードが示される時点で、ピット要員は当該エリアから離れなければならない。FS-125部門では、「1min」ボードが示された時点からフォーメーションラップ開始時までの間であればいつでも、ドライバーはエンジンを始動することができる。
「1min」ボード提示後は、ピット要員による援助は一切認められない。
ただし、OK部門においては、フォーメーションラップ開始までに登録されたピット要員2名までの援助を認める。
- 6) 「30sec」ボードが提示された30秒後に担当オフィシャルにより緑旗が提示され、カートはフォーメーションラップを開始する。
- 7) エンジン不動等によりスタートが困難なドライバーは、両手または片手を頭上に高く上げ、合図をしなければならない。この場合、黄旗を持つ担当オフィシャルが当該カートの直近に立ち、フォーメーションラップ中のドライバーに警告する。
担当オフィシャルは、フォーメーションラップ開始後、スターティンググリッド上に留まっている全てのカートを所定の位置に移動する。
- 8) カートは、所定の位置にてピット要員の援助（介入）を受けエンジンを再始動することができる。次いで担当オフィシャルの指示に従いフォーメーションラップの隊列の最後尾に加わり出走できる場合がある。
3. スタートが合図される前に、約1周のフォーメーションラップを行う。フォーメーションラップ中のドライバーは、2列の隊列で低速走行し、スタートラインへ向かう。スタートライン25m手前に引かれたイエローラインを越えるまでは加速してはならない。
4. カートがスタートラインに接近する段階で赤信号が点灯

し、スタート前の最終的な隊列を形成させるために、イエローライン付近にパイロンを配置することがある。当該パイロンに故意に接触等をしたドライバーに対しては、ペナルティが課せられることがある。

5. 競技長は、フォーメーションが整いイエローライン前に加速をしていないと判断した場合、赤信号を消灯してスタートの合図を行い、パイロンが配置されていた場合は、コース委員によって配置したパイロンが撤去される。
フォーメーションとイエローライン前での加速に問題がある場合、競技長は、フォーメーションラップが更に1周行われることを合図するために赤信号の灯火を続ける（消灯しない）。
6. フォーメーションラップ中のドライバーはオーガナイザーが定める区間での追越しおよび割り込みが禁止され、これに違反した者は当該ヒート失格となる。
7. フォーメーションラップ中に隊列のペースを乱す者があった場合は白・黒旗が示される。フロントローでそれが繰り返された場合は最後尾に繰り下げられる場合がある。
8. フォーメーションラップ中に隊列から遅れた者が隊列の前に出て待つような行為をしてはならない。
9. フォーメーションラップ中に隊列から大きく遅れ、競技長により指示（白地に赤のバツテンのボード表示）された者およびフォーメーションラップ中にピットインした者と周回遅れの者は最後尾に着かなければならない。
10. フォーメーションラップ中にコースをショートカットすることは禁止される。
11. フォーメーションラップ中にポールまたはセカンドのカートが停止または遅れてもローリングは続行される。その際は先頭にいる者にローリングのペースを保つ義務が生じる。
12. スタート後、先頭のカートが1周するまでにスタートラインを越えないカートは、そのヒートを出走することはできない。

第30条 その他競技に関する一般事項

1. 旗の信号については「カート競技会運営に関する規則」第13条に従う。但し、スタート合図は灯火信号を用いる。
2. コースアウトに対するペナルティは競技長の判断による。
3. 走路審判員が反則または妨害行為とみなしたものについては、ペナルティが課される。更にその行為が、2回以上に及ぶときは失格とする。
4. ドライバー・サインは次の通りとし、これを怠った者に対しては、ペナルティが課せられることがある。
 - 1) コース上で停止した場合のサインは、両手もしくは片手を頭上に高く上げる。
 - 2) ピットイン・ピットアウトのサインは片手を頭上に高く上げる。
 - 3) 黄色の山型を付した緑色旗（ミススタート）が示された場合は各自、片手を頭上に上げ、スピードダウンし、

元のローリングスタート時のポジションに戻るものとする。

- 4) スローダウンするドライバーは、片手を高く上げる。
5. 公式練習、タイムトライアルおよびレース中（フォーメーションラップを含む）コース上で停止した場合は、他を妨害することなく、後続車両通過後、またはコース委員の指示があり、自力で再発進できる場合にのみレースに復帰できるものとする。
6. 公式練習、タイムトライアルおよびレース中（フォーメーションラップを含む）にリタイヤしたドライバーは自分の車両を速やかに安全な場所に移動し、そのヒートが終了するまで「カート競技会参加に関する規定」第11条に規定する装備一式を着用し、車両から離れてはならない。
7. レース中は、コースを外れてショートカットすることは認められず、当該行為はコースアウトとみなされ、ペナルティの対象とする。
8. 工具の持込みおよび工具を用いた修理等は、指定されたエリア（ピットおよびパドック）を除き、一切禁止される。
9. 競技中の燃料補給は禁止する。
10. レース着順1位の者がフィニッシュラインを通過後2分以内に、カートが自力で同ラインを通過したものは、そのラップが加算される。完走者となるためには、チェッカーにかかわらず、規定周回数の1/2以上を完了しなければならない。
11. レースの順位は次の順序により、周回数の多い順に決定される。
 - 1) チェッカーを受けた完走者（規定周回数の1/2以上を完了し、チェッカーを受けた者）。
 - 2) チェッカーを受けない完走者（規定周回数の1/2以上は走行したが、チェッカーを受けなかった者）。
 - 3) 不完走者（チェッカーにかかわらず、規定周回数の1/2以上を走行していない者）。
 - 4) 同周回数の場合は、その周回を先に完了（コントロールライン通過）した者を優先する。
12. レースは着順によるものとし、計時を行わない場合がある。
13. 競技中において、前方の競技ナンバープレートが脱落若しくは脱落しそうな場合はオレンジディスクのある黒旗（番号を添えて提示）が振られる。それに該当するカートは必ず1度ピットインして競技ナンバープレートを取付け直すこと。
14. パドックエリア、ウェイティンググリッドおよびオーガナイザーが指定したエリアにおけるエンジンの始動および作動については、カートが走行可能な装備等を具備し、リアタイヤが地面に接地した状態（リアタイヤが地面に常に接触した状態）でのみ認められる。

ただし、オーガナイザーが指定したウォーミングアップエリアにおいては、リアタイヤが地面に接地しない状態でエンジンの始動および作動が認められる。

15. 全日本選手権競技の成立とは、部門毎に5台以上の車両が出場しなければならない。5台に満たない場合は、その部門の選手権は成立しない。

なお、この場合における出場とは、予選ヒートのスタートの際に5台以上のカートがコントロールラインを越えることをいう。

以上の条件を満たした時、全日本選手権競技は成立する。

16. 各ヒートは、規定周回数の60%以上が消化された場合、当該レース（ヒート）が成立する。
17. 消火器携帯の義務について

各ドライバーは全ての競技会において、下記条件を備えた消火器を1本以上備えていなければならない。

また、ピット、パドックでの火気厳禁徹底に努めなければならない。

【携帯用消火器の条件】

■種類：ABC粉末タイプ

■大きさ：4型（内容量1.2kg）以上

第31条 審判員

- 1) 国内競技規則10-20に基づく審判員の判定事項は、本統一規則に関する事項とする。
- 2) 審判員の氏名は、公式プログラムまたは公式通知で示される。

第5章 ピットに関する事項

第32条 ピットイン

ピットインする場合はピットロードを徐行しなければならない。かつ必ずピットストップし、エンジンを停止しなければならない。これに違反した場合は当該ヒート失格となる。

第33条 ピットでの作業

ピットは指定された場所を使用しなければならない（競技長から指示があった場合を除く）。またピット内で作業し得るものは当該部門に出場しているドライバーとピット要員のみとし、ピット要員は指定されたクレデンシャルを装着しなければならない。走行中のドライバーに対してピット・サインを送る場合は、ピット要員1名に限り各自のピット・エリア内においてのみ表示することができる。

レース中燃料の補給をしてはならない。

第34条 ピット要員

「カート競技会参加に関する規定」第18条に基づき、ピット要員の行為に関する最終的な責任はエンタラントに帰属するが、レース中における場合は、ドライバーに直接統轄の責任があるものとする。ピット要員による規則の違反は、当該ドライバーに対する黒旗の指示となることがある。

第35条 ピット内

ピットにおける火気の使用を禁止する。燃料の容器は20ℓ以内の消防法に適合した金属製の携行缶でなければならない。

第36条 レース中のピット要員

レース中ピット要員は、自己のピットを離れてはならない。

第37条 車両保管

レース終了後の車両保管および車両検査は、次の通りとする。

1. 車両保管および再車両検査を行う。保管が解除になったカートは、エントラントが速やかに引取らなければならない。
2. 決勝ヒート終了後保管時間は30分以上、所定の場所で行われる。
3. 技術委員長は、スタートしたすべての車両に関し検査を行う権限を保有するものとする。技術委員長が検査を行う際は、エントラントもしくはその代理人が、責任をもって車両の分解および組立てを行わなければならない。
但し、関係役員、エントラントおよびドライバー以外は検査に立ち会うことはできない。

上記に対する違反は、競技長によって勧告され、審査委員会によりペナルティが課せられる場合がある。

第6章 ペナルティに関する事項

第38条 ペナルティ

1. ペナルティは次の6種がある。
 - 1) 警告
 - 2) 罰金
 - 3) タイムペナルティ
 - 4) ポイントペナルティ
 - 5) ラップペナルティ
 - 6) 失格 (当該タイムトライアル、ヒート、またはレースの失格)
2. 警告はその必要ありと認められた軽反則に対して発せられる。
3. 罰金は成績に対するペナルティには至らない違反に適用される。
4. タイムペナルティは失格には至らない違反に適用される。
5. ラップペナルティは失格には至らない違反に適用される。
6. ポイントペナルティは失格には至らない違反に対し予選ヒートおよび決勝ヒートに適用される。
7. 失格は次の反則行為に課せられる。
 - 1) 規則に反してまたは不当に得たアドバンテージ。
 - 2) 故意に自己または他人の安全を省みることなく行う危険行為。
 - 3) 与えられたオフィシャル指示を故意に無視した際。

4) 与えられたフラッグサインの無視。

<ペナルティの例>

- (1) エントリーの遅れ (オーガナイザーが認めた場合、但し2週間前まで)
⇒遅延賠償 (事務局手数料)
 - (2) 当日受付確認の遅れ (オーガナイザーが認めた場合、但し公式練習まで)
⇒遅延賠償 (事務局手数料)
 - (3) 車検の遅れ (オーガナイザーが認めた場合、但し公式練習開始まで)
⇒遅延賠償 (事務局手数料)
- 以降本規則第49条による。
- (4) 重量違反
⇒当該タイムトライアル、ヒート等の失格
 - (5) 燃料違反
⇒レース失格
 - (6) 服装違反 (車検時に判明した場合)
⇒着順から3位下 (3つ下) の順位のポイント
 - (7) 各ヒート終了時に国内カート競技車両規則に定める必備の部品が脱落の場合
⇒当該ヒート失格
 - (8) 公式練習に参加しなかった場合
⇒レース失格
 - (9) フォーメーションラップ中の指定区間での追越し、割込み違反
⇒当該ヒート失格
 - (10) フォーメーションラップ中に隊列のペースを乱した場合 (警告旗の後)
⇒着順から3位下 (3つ下) の順位のポイント
同行為をフロントローが繰り返した場合
⇒最後尾に繰り下げ
 - (11) スタート時のフライング (警告旗またはミススタート旗の後)
⇒1周減算
 - (12) プッシング、極度のブロックング (警告旗の後)
⇒着順から3位下 (3つ下) の順位のポイント
同行為が著しい場合
⇒当該ヒート失格
 - (13) ショートカットとなるコースアウト
⇒1周減算
 - (14) 黄旗時の追い抜き (公式練習、タイムトライアル)
⇒タイムトライアルの結果に4秒加算
 - (15) 黄旗時の追い抜き (予選ヒート、決勝ヒート)
⇒1周減算
 - (16) 黒旗の無視
⇒レース失格
 - (17) オレンジディスクのある黒旗の無視
⇒当該ヒート失格
 - (18) レース中のコース内での他者の援助 (メカニックの

立ち入り援助を含む)

⇒当該ヒート失格

公式練習の場合はタイムトライアルに4秒加算

(19) 工具携帯走行

⇒レース失格

(20) ピットロード徐行違反

⇒当該ヒート失格

(21) 指定エリア(ピット、パドック)以外で作業した場合

⇒当該ヒート失格

(22) ピット要員のオフィシャル指示に対する違反

⇒当該ドライバーのレース失格

(23) エンジン始動・作動違反

⇒警告または罰金

(24) これらを含みその他のペナルティについては、特別規則書または公式通知等にて通知もしくは競技長によって勧告され、審査委員会により課される。

(25) コース上に停止しコース委員の指示に従わなかった場合、また後続車両通過前に再スタートした場合

⇒1周減算

(26) 公式練習およびタイムトライアルを除き、チェッカー後フィニッシュラインを通過したカートのフロントフェアリングが正しい装着状態でなかった場合

⇒タイムに10秒加算

(27) フロントフェアリング装着に関する不正行為

⇒レース失格

第7章 抗議に関する事項

第39条 抗議の提出

- 「JAF国内カート競技規則」第40条に基づき、書面をもって抗議料を添付の上、エントラントより競技長に提出するものとする。
- エントラント、または当該エントラントが文書で正式に指名した代理人のみが抗議権を有する。
- 「JAF国内競技規則」10-20に従ってなされた審判員の判定、計時装置および音量測定結果、第38条(26)および(27)により課されたペナルティに対する抗議は認められない。
- 提出された抗議により再車検等を実施し、その抗議が成立した場合には再車検等に要した費用ならびに分解組み立ての費用は、被抗議者であるエントラントまたはドライバーの負担とし、これと反対に当該車両等が規則通りのものであることが判明した場合は抗議提出者がそれらの費用を負担しなければならず、費用の算定については技術委員長に委ねられる。

第40条 抗議提出の時間制限

- 技術委員または車両検査委員の決定に対する抗議は、決定直後とする。
- 競技中の過失または反則に対する抗議は、その競技の終了後30分以内とする。
- 競技の成績に関する抗議は、その発表後30分以内とする。

第41条 抗議料

52,400円

第8章 成績および賞典に関する事項

第42条 成績および賞典

- 決勝ヒートの結果により決定する。
- 賞典はドライバーに対して行われる。

第9章 得点

第43条 得点基準

本選手権競技会のドライバーに与えられる得点は下表a①およびa②を適用する。得点は予選ヒート出走者および決勝ヒートの完走者のみに与えられ、不完走者、失格者および不出走者には与えられない。

(表a①) 決勝結果成績に付す得点

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
得点	25点	22点	20点	18点	16点	15点	14点	13点	12点	11点
順位	11位	12位	13位	14位	15位	16位	17位	18位	19位	20位
得点	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

(表a②) 予選結果成績に付す得点(10位まで)

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
得点	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

但し、競技会出場台数(予選ヒート出走台数)に応じ下表bの通り得点の対象となる順位が制限される(表a②予選結果成績に付す得点は10位を上限とする)。

(表b)

出場台数	得点対象順位	出場台数	得点対象順位
40台以上	20位まで	22~23台	11位まで
38~39台	19位まで	20~21台	10位まで
36~37台	18位まで	18~19台	9位まで
34~35台	17位まで	16~17台	8位まで
32~33台	16位まで	14~15台	7位まで
30~31台	15位まで	12~13台	6位まで

28～29台	14位まで	10～11台	5位まで
26～27台	13位まで	8～9台	4位まで
24～25台	12位まで	5～7台	3位まで

※当該年の日本カート選手権規定第6条および第28条による。

※FS-125部門東西統一競技会の得点は上表a①の得点を1.5倍したものと上表a②を合算したものとする。

第10章 広告に関する事項

第44条 広告

ナンバープレートに広告を表示することは認められない。その他の広告については、オーガナイザーは、次のものに関し抹消する権限を有し、かつドライバーはこれを拒否することができない。

1. 公序良俗に反するもの。
2. 政治・宗教に関連したもの。
3. 本競技会に関係するスポンサーと競合するもの。

第11章 その他一般事項

第45条 エントラントおよびドライバーの遵守事項

1. エントラントは、自己の参加に係わるすべての者に、すべての法規および規則を遵守させる責任を有する。
2. エントラント、ドライバーおよびピット要員は本統一規則の下で開催される競技会中に生じた事態について、本連盟ならびにその所属員および競技役員に対していかなる責任も追及しないこと。
3. エントラントおよびドライバー等のチーム関係者は、オーガナイザーまたは審査委員会によって事情聴取を受けた場合は、指示があるまで会場を離れないこと。
4. 指定された場所以外での喫煙は禁止される。
5. 競技期間中に競技開催コースにおいて、エントラント、ドライバーおよびピット要員が飲酒することは禁止される。
6. エントラント、ドライバーおよびピット要員は、スポーツマンらしからぬ行為、不謹慎な言葉遣い、あるいは競技を妨害する行為をとった場合、当該競技会失格とする。

第46条 コースへの立ち入り

1. 競技会特別規則の組織図に予定されている競技役員およびASNのみがコースに立ち入る権利を有する。
2. プレス代表者は、オーガナイザーに対し特に申請し、許可を得た場合以外はコースに立ち入ることはできない。更に競技役員によって与えられた指示に従わなければならない。

第47条 誓約書の署名

エントラント、ドライバー、ピット要員は参加申込用紙に記載された誓約文に署名捺印しなければならない。

第48条 本統一規則の解釈

本統一規則並びに競技の細則に関する解釈に疑義が生じた場合は、審査委員会の決定を最終的なものとみなす。

第49条 本統一規則の違反

1. 本統一規則に対する違反の罰則は審査委員会の決定により宣告される。
2. 日本カート選手権競技に適用される規則に違反した者に対し、JAFは罰則を課す場合がある。
3. 年齢、ライセンス等、出場資格に制限のある日本カート選手権競技で、その資格に違反してエントリーしたことが競技会開始後に判明したドライバーについて、JAFは当該年度の選手権の全得点を無効とする場合がある。

第50条 本統一規則の施行ならびに記載されていない事項

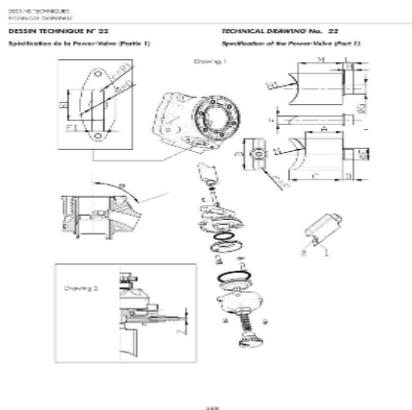
1. 本統一規則は当該年の1月1日より施行する。
2. 本統一規則に記載されていない事項については、FIA国際モータースポーツ競技規則と国際カート規則、それに準拠したJAF国内競技規則、JAF国内カート競技規則とその付則に準拠する。
3. 本統一規則発行後、JAFにおいて決定された事項は、すべての規則に優先する。

以上

全日本カート選手権OK部門適用車両規定

1. エンジン
 - 1) 公認エンジンへの改造はすべて認められる。ただし、OK公認書に記載されているオリジナル部品の当初の外観、寸法、図面または写真から変更されるような改造は、本規則の条項で明確に許可されている場合、または安全上の理由（CIK-FIAによって発表される）がある場合を除き、禁止される。
 - 2) ベーシック・エンジンは特定の部門すべての使用に適合できるものでなければならない。
 - 3) ダイレクト・ドライブ・シングル・シリンダー・2ストローク・レシプロケイティング・エンジンはCIK-FIAによって公認される。
 - 4) 新素材は禁止される。
 - 5) 機械的な機能および／または伝達力を持つ部品については鉄もしくはアルミニウムを使用すること。
 - 6) カーボンはすべての構成部分において使用を禁止する。

- 7) エンジンのクランクケースおよびシリンダーは、アルミニウムの鋳物の使用を義務付ける。
- 8) クランクシャフト、コネクティング・ロッドとクロスヘッドピンは磁気鉄鋼の使用を義務付ける。
- 9) ピストンはアルミニウムの鋳造か鍛造が義務付けられる。
- 10) 鉄の鋳型ライナー付のシリンダーとする。
- 11) シリンダーの最大容積：125cc。
- 12) ストロークは最短54mmから最長54.5mmの間で構成される。
- 13) 水冷（クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッド）は1回路のみとする。
- 14) 冷却は、単一回路の1つの自由なラジエーターに制限され、いかなる他の組み合わせも除外される。サーモスタットの正常な機能のために内部回路を付加することは認められる。
- 15) クランクケースやシリンダー内部のリードバルブ吸気方式とする。
- 16) 図No. 22に合致し、エンジンとともに公認された特定の単一型パワーバルブ。

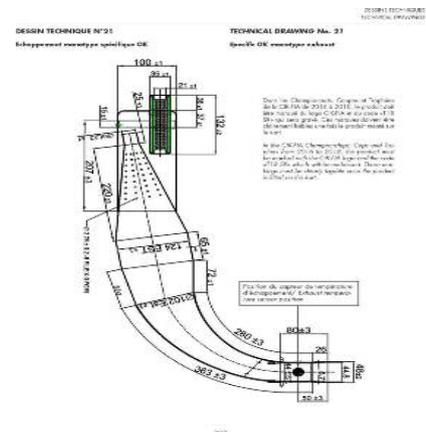


- 17) 過給は禁止する。
- 18) 燃焼室の最小容積は9ccとし、付則No. 1cによる測定方法とする。
- 19) スパーク・プラグ：銘柄は自由（量産品で厳密に当初のままとする）。シリンダーヘッド上に締め込まれたスパーク・プラグのバレル（電極は含まない）は、燃焼室ドームの上部を超えてはならない。
- 20) 排気角度は排気ポートで最大194°とし、その測定は技術規定 2.25.3.2 に記載されている方法に従い、ライナーのレベルで行われる。
- 21) デコンプレッションバルブが義務付けられる。それは、シリンダーヘッド頂部に装着されなければならない。
- 22) スパーク・プラグハウジングのねじ山の寸法—長さ：18.5mm；ピッチ：M14×1.25
- 23) クランクシャフトとは反対の方向に回転するアン

バランス・システムを用いた公認バランスシャフトの使用が義務付けられる。バランシングは最小25%（詳細は公認規則を参照）。外部から直接その配置と操作がコントロール可能なバランスシャフトでなければならない。

- 24) エンジン回転数は16,000rpmまでとする。
- 25) 最大直径24mmの2本の調整用スクルーを備える公認バタフライタイプキャブレターで、厳密にオリジナルのままでなければならない。疑義を避けるため、このことは、キャブレターが、合理的な製造上の公差の範囲内で、公認査察時に査察員によって封印されCIK-FIAで保管されているキャブレターとすべての面で同一でなければならないことを意味する。また、当該公認書および吸気ダクトの形状を検査するために製造者によって預託された工具に適合していなければならない。
- 26) クラッチは認められない。
- 27) スターターは認められない。
- 28) バッテリーは認められない。

29) 図No. 21に合致しOK公認された特定の単一型排気装置



- 30) CIK-FIAは23mmのダクトを2つ備えた吸気消音器を公認する。
- 31) 音量は7,500rpmで最高100dB/Aを限度とする。
- 32) 加えられる潤滑油の量は、燃料の4%を限度とする。
- 33) 化学物質排気量の制限は公認時に規制される。
- 34) 認証：30mm×20mmの平らな場所に特定する認証ステッカーを取り付ける。
 - シリンダーの前
 - ハーフ・サンプル用のリード・ボックス・ハウジングの上部
- 35) タイヤ：5インチ

- 36) 最低総重量：145kg（ドライバー含む）
- 37) カートの最低重量（燃料を除く）：70kg
- 38) ブレーキシステム（キャリパー、ディスク、パッド、配管、マスターシリンダー）は、CIK-FIAの有効なブレーキ公認を有する製造者によって製造されたものでなくてはならない。

2 ボディワーク

全ての部門の車両は、2015-2020のCIK-FIA公認フロントフェアリング取付キットの使用が義務付けられ、次の国際規則が準用される。（ ）内の※は日本選手権における取り扱いを示す。

(1) 2017年CIK-FIA国際競技規則4.2の30.

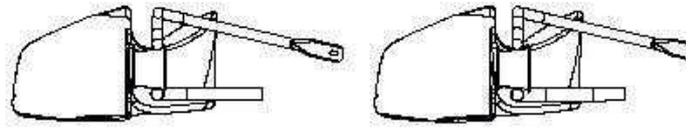
- ①すべてのCIK-FIA選手権、カップおよびトロフィー（スーパーカートを除く）では、公認されたフロントフェアリング、および2015年～2020年の公認期間の車体で公認されたフロントフェアリング搭載キットの使用が義務付けられる。
- ②予選ヒートからファイナルまでの間に、各ドライバーは、カートから外されたフロントフェアリングの組み立てエリアである「スタート」サービスパーク（※指定されたエリア）に入らなければならない。メカニックあるいはドライバー自身が、車検員（※技術委員）の監督下にある組み立てエリアである「スタート」サービスパーク（※指定されたエリア）にてフロントフェアリングを装着しなければならない。
- ③予選ヒート、およびファイナルの間、フロントフェアリングは、修理エリア（※ピットエリア）においてのみ正しい位置に装着することのみ認められる。
- ④正しいフロントフェアリングの装着
フロントフェアリング（フロントフェアリング装着キットを使用）は競技の間常に正確な位置になければならない（技術図面No. 2d参照）。

DESSINS TECHNIQUE
TECHNICAL DRAWING

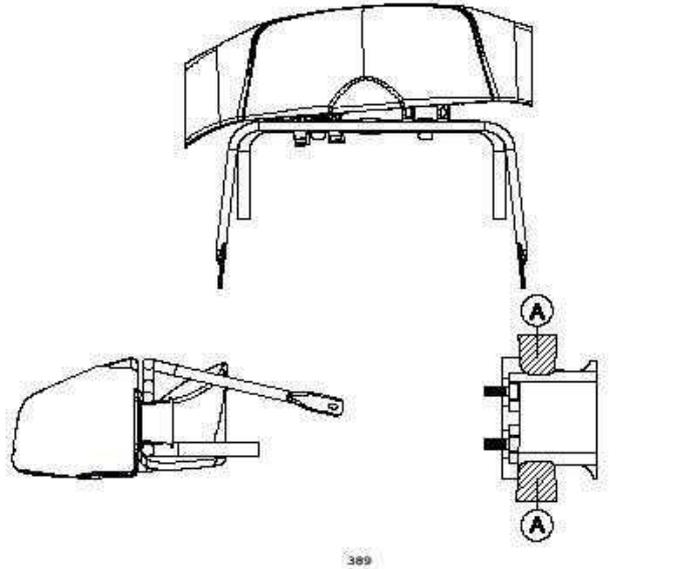
DESSIN TECHNIQUE N° 2d TECHNICAL DRAWING No. 2d

Installation correcte du «Carénage Avant» Correct installation of the "Front Fairing"

Position correcte / Correct position Position acceptable / Acceptable position



Position non acceptable si une quelconque partie des tubes du pare-chocs avant se trouve dans les zones marquées (A). Not acceptable position if any part of the tubes of the front bumper are in the marked areas (A).



- ⑤黒地にオレンジ色の円のついた旗は、フロントフェアリングが正確な位置にもはやない状態である場合、当該ドライバーに提示されることはない。
- ⑥黒白のチェッカーフラッグが振られており、審判員がカートのフロントフェアリングが正確な位置にない1台もしくはそれ以上のカートがフィニッシュラインを通過したことを報告する場合、（※車検場または車両保管場所における確認結果を報告する場合）いかなる状況においても、10秒のタイムペナルティが当該ドライバー（含複数）に課される。このタイムペナルティを抗議の対象とすることはできない。
- ⑦最終ラップ中あるいは黒白のチェッカーフラッグが振られた後に、ドライバーが正確に装着されていないフロントフェアリングを故意に正確な位置に戻したとされた／証明された場合、当該ドライバーはレース失格の処分を受ける。
- ⑧「最終ラップ」のパネルがドライバーに対して示された（※合図または提示）時点から、修理エリア（※ピットエリア）は閉鎖される。
- ⑨フロントフェアリングが規定に適合しているかを検査

するため、RAE Systems 社 (USA) のミニレイ・ライト (MiniRAE Lite) 計測装置が、予選、予選ヒートおよびファイナルで使用される (※使用される場合がある)。

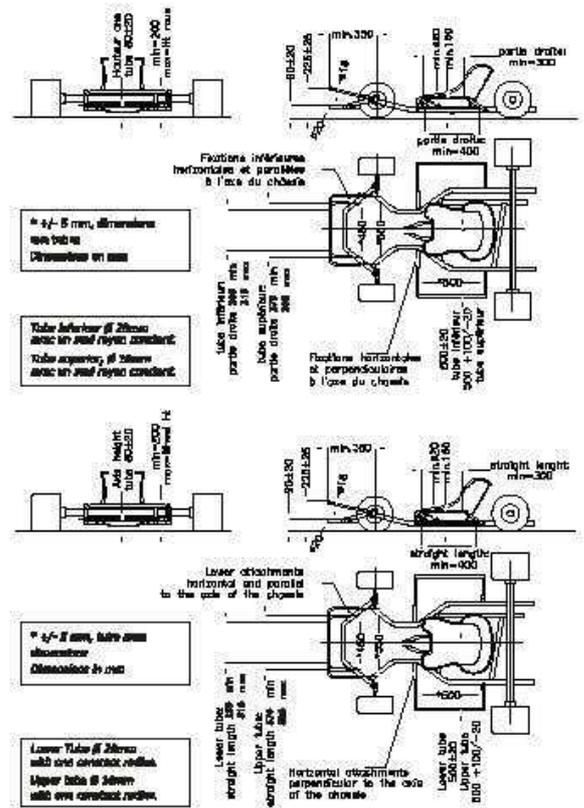
いかなる状況においても、フロントフェアリングのVOC (揮発性有機化合物) 測定値は5 ppm (最大制限値) を超えてはならない。

注：例えば清掃スプレーなどによる、フロントフェアリングの汚染は、これによって制限値の超過に成り得る場合があるため、避けなければならない。

⑩検査の結果、フロントフェアリングが規定に適合していないことが判明した場合、当該ドライバーは組み立てエリア (※指定されたエリア) に入ることは禁止される。従って、対応する競技部分に (予選、予選ヒート、ファイナル) に参加することはできない。この手続きに関する抗議は受け付けられない。この点に関する抗議および控訴は停止効力を持たない。

(2) 2017年CIK-FIA国際カート技術規則2.5.1の2.5.1.1

- ①フロントバンパーは少なくとも2つの鋼鉄製の部品で構成されていなくてはならない。
- ②上部の鋼鉄製バーの直径は最小16mm (2つのコーナーは一つの一定の湾曲度でなければならない)、下部の鋼鉄製バーの直径は最小20mm (2つのコーナーは一つの一定の湾曲度でなければならない) で、上下のバーは連結されていること。
- ③上記の2つの部品は、ペダルの付属装置から独立していること。
- ④フロントバンパーは、必備であるフロントフェアリングの取り付けが可能な形状であること。
- ⑤フロントバンパーは、4点でシャシーフレームに取り付けられていなければならない。
- ⑥フロントオーバーハング：最小350mm
- ⑦下部バーの幅：直線部全長でカートの縦軸に対して最小295mm、最大315mm
- ⑧下部バーの取付部品は、シャシーの軸に対して平行で (水平・垂直方向に)、バンパーを50mm取り付けられる (シャシーフレームへの取付装置システム) 形状であること。
- ⑨取付部品は互いに450mm離し、地上から90+/-20mmの高さでカートの縦軸の中心に取り付ける。
- ⑩上部バーの幅：直線部全長でカートの縦軸に対して最小375mm、最大395mm
- ⑪上部バーの高さは、地上から200mm~250mmとする。
- ⑫上部バーの取付部品は、互いに550mm離し、カートの縦軸の中心に取り付ける。
- ⑬上下バーの取付部品は、シャシーフレームに溶接されてなくてはならない。



(3) フロントフェアリング (Fフェアリング) とフロントバンパー (Fバンパー) とフロントフェアリング装着キット (Fフェアリング装着キット) の組み合わせは、FフェアリングとFバンパーの公認番号が同一であり、Fフェアリング装着キットはCIK-FIAが唯一公認しているKG 1/CA/20 01/01/ETを使用しなければならない。

なお、Fバンパーは上記(2)2017年CIK-FIA国際カート技術規則2.5.1の2.5.1.1にも適合していなければならない。

<組み合わせ例>

- 認められる：Fフェアリング (KG 2/CA/20) + Fバンパー (KG 2/CA/20) + Fフェアリング装着キット (KG 1/CA/20 01/01/ET)
- 認められる：Fフェアリング (Eurostar 50/CA/20) + Fバンパー (Eurostar 50/CA/20) + Fフェアリング装着キット (KG 1/CA/20 01/01/ET)
- 認められる：Fフェアリング (CRG 72/CA/20) + Fバンパー (CRG 72/CA/20) + Fフェアリング装着キット (KG 1/CA/20 01/01/ET)

認められる：Fフェアリング (OTK 100/CA/20) + Fバンパー (OTK 100/CA/20) + Fフェアリング装着キット (KG 1/CA/20 01/01/ET)

※なお、本適用車両規則について、JAFは年度途中においても事前予告をもって変更する権利を留保する。

以上

全日本カート選手権FS-125部門適用車両規定

1 エンジン

- (1) IAME PARILLA X30のみの使用とし、一切の変更・改造は禁止される。また、全ての部品、取付は工場出荷時の状態から変更は認められない。
- (2) シリンダーヘッドの上面に「JAP」又は、「JPN」の刻印があるものに限る。
- (3) シリンダーヘッドガスケットはメーカー純正の0.4mm (部品番号 EBP-125045) のみの使用に限る。メーカー純正オプションの0.2mm (部品番号 EBP-125046) の使用を禁止する。
- (4) リードペダルはメーカー純正グラスファイバー製0.3mm (部品番号 X3011840) のみの使用に限る。メーカー純正オプションカーボン製 (部品番号 F-11840-C / F-11841-C) は使用を禁止する。
- (5) クラッチドラム、クラッチシューはX30純正部品のみの使用に限る。
部品番号
クラッチドラム X30125550 又は X30125550A
クラッチシュー X30125840 又は X30125841
スターターギア X30125830 又は X30125831
- (6) ドライブsprocketは#219チェーンサイズ用のみの使用に限る。
- (7) メーカー純正以外で使用できる部品は以下の通りとする。
オイルシール、ドライブsprocket、スモールエンドベアリング、ビッグエンドベアリング、サークリップ、ケースベアリング、バランスシャフトベアリング 6005/6202、ボルト、ナット、ワッシャー、コンロッドワッシャー
但し、ケースベアリングは単列深溝玉軸受ボールベアリング 6206 番台の開放形に限る。銘柄は自由とする。

2 吸気系統

- (1) キャブレターはX30純正部品の Tryton HB27C (ベンチュリーの最大直径26mm以下) のみの使用を可能とし、改造は一切認められない。
- (2) メーカー純正以外で使用できる部品は以下の通りとする。
メタルダイアフラム、ポンプダイアフラム、ダイヤフ

ラムガスケット、インレットニードル&ガスケット、メタリングレバー、メタリングレバーピン、インレットスプリング、ストレーナカバー、ストレーナカバーガスケット、ストレーナスクリーン、ニードルスクリーオーリング

- (3) インレットサイレンサー：
X30純正品 (部品番号 10743 または部品番号 10751-A) もしくは以下のものの使用を可能とする。
「JAF国内カート競技車両規則」第2章第8条21 (吸気消音器) に従ったCIK-FIA登録、公認または公認実績品のインレットサイレンサーの装着が義務付けられる。ただし、1つのチューブ径は以下のものに限る。
2003年以前のモデルは22mm。
2004年以降のモデル(フィルター付)は23mm。
なお、インレットサイレンサー (吸気消音器) 本体の改造は禁止される。

3 マフラー

- (1) 使用できるマフラーは当該エンジン指定のメーカー純正マフラー (マフラーキャップを含む) に限る。
- (2) マフラーキャップはIAME刻印のあるものとし、改造は認められない。
- (3) メーカー純正以外で使用できる部品は以下の通りとする。
エキゾーストジョイント (ジャバラ)、エキゾーストガスケット、エキゾーストスプリング
- (4) エキゾーストパイプは修理と排気温センサー取り付けのための溶接は可。

4 ラジエーターパーツ

- (1) ラジエーター本体と取付ステーは以下のものに限る。
X30標準ラジエーター
350mm×198mm (部品番号 T-8000A)
X30標準ラジエーターサポートKIT
(部品番号 T-8133-C)
X30純正オプションラジエーター
410mm×198mm (部品番号 T-8000B)
X30純正ラジエーターサポートKIT
(部品番号 T-8135-C)

※但し、補助ステー (下図②) およびフレーム本体への取付ステー (下図③) は銘柄を自由とする。

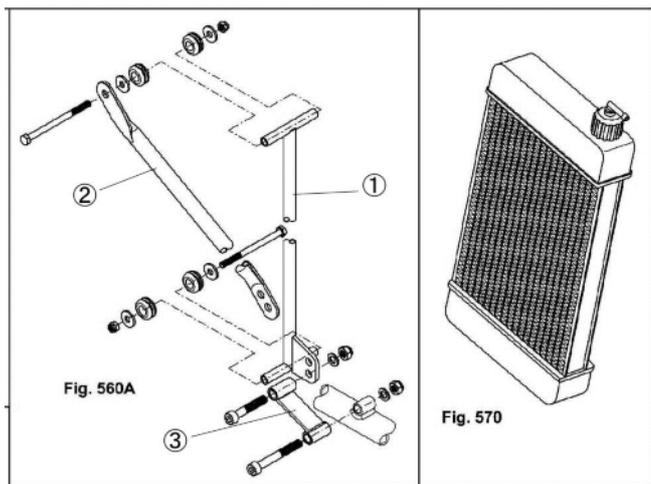
2017年JAF国内カート競技車両規則 (抜粋)

第2章 一般規定

第7条 バンパー

5. リアプロテクション

1 3) 如何なる状況下においても、リアプロテクションは、リアホイール水平面からはみ出してはならない。



- (2) ウォーターポンプ、プーリーはメーカー純正部品の使用に限る。
- (3) サーモスタットは純正部品の使用に限る。
- (4) サーモスタットの着脱は自由とする。
- (5) メーカー純正以外で使用できる部品は以下の通りとする。
ラジエターホース、ウォーターポンプベルト (Oリング)、ウォーターポンプインナーパーツ (オイルシール、ベアリング)

5 電気系統

- (1) 改造は一切禁止する。
- (2) コントロールユニットはREVリミット15, 500rpmのものに限る。(部品番号X30125930)
- (3) バッテリーの搭載方法はシャシーフレームの周辺、またはフロアに設置する。
- (4) バッテリーボックスは銘柄自由。
- (5) バッテリー搭載クランプはしっかり固定できるものであれば銘柄自由。
- (6) プラグは一般市販状態のネジ山長19mm以下のものに限る。プラグワッシャーも含めて市販状態とし、ネジ山長の変更禁止。
- (7) 以下の電装パーツはX30純正部品のみの使用に限る。

部品番号

ワイヤーハーネス X30125935-C 又は X30125935D-C
イグニッション SELETTA

X30125950 又は X30125952

スターターリレー X30125941 又は IFE-05200

ケーブルハーネスアダプター

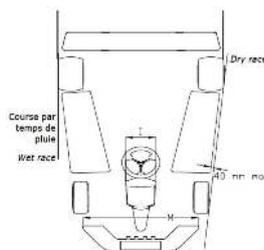
2012-2013変換用 X30125939

- (8) メーカー純正以外で使用できる部品は以下の通りとする。
バッテリー、プラグ、プラグキャップ、コイルアースケーブル

6 最低重量: 155kg

7 ボディワーク

OK部門適用車両規定の2ボディワークを適用する。



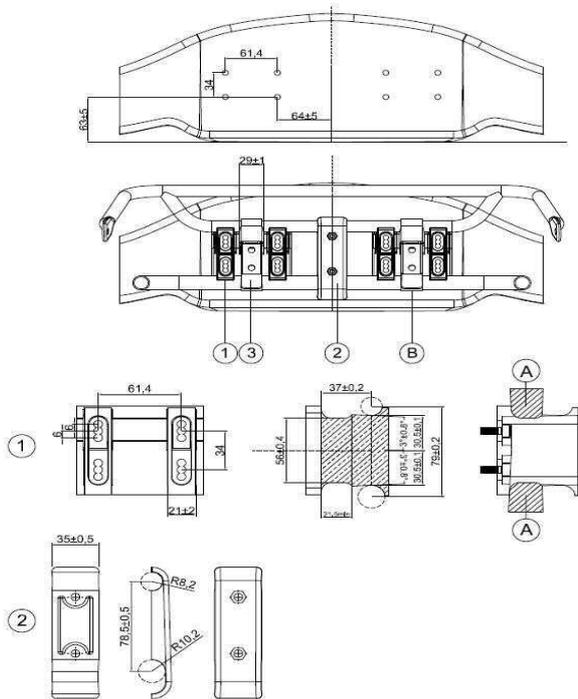
CIK-FIA技術規則 (抜粋)

付則No. 1 (参考)

燃焼室の容量計測方法。

- *シャシーからエンジンを降ろす。
- *エンジンが周囲の温度になるまで待つ。
- *点火プラグの突出を検査するため、シリンダーヘッドを外させる。
- *点火プラグを外させる (18.5mmの寸法を検査)。
- *点火プラグの代わりに「プラグインサート」をねじ留める (シリンダーヘッドに締め付けられた「プラグインサート」は、燃焼室のドーム上部より突出してはならない。長さ18.5mmの点火プラグと同じ方法でシリンダーヘッドに固定されなければならない)。
- *ピストン最上部とシリンダーの周囲を、グリスを用いて防水処理する。
- *ピストンを上死点に位置させ、クランクシャフトを固定する。
- *はみ出したグリスを丁寧に取り除く。
- *シリンダーヘッドを再び位置させ、製造者によって推奨されるトルク値でこれを締め付けさせる。
- *実験用の目盛り付きビュレット (機械式または電子式) を用いて、燃焼室を「プラグインサート」の上端部分の最高位まで (オイル50%と燃料50%の混合物で) 満たす (ヘッドガスケット面を濡らす)。
- *実験用の目盛り付きビュレット (機械式または電子式) を用いて、燃焼室を「プラグインサート」の上端部分の最高位まで (オイル50%と燃料50%の混合物で) 満たす (ヘッドガスケット面を濡らす)。
- a)、b) (省略)
- c) KF4、KF2およびKF1においては、次に計測した容量から「プラグインサート」容量 (2cc) を引いた値が9cc未満であってはならない。

2015-2020 CIK-FIA公認フロントフェアリング取り付け方式



- A…この領域にほかなる部品も（例えばネジであっても）許されない。
- B…フックランプは工具を用いることなく手で開け閉めできること。

フロントフェアリング取付キットを使用してフェアリングをカートに取り付けることのみが認められる。他の手段は認められない。フロントフェアリングは、自由にシャシーの方向へ後退できなければならず、その動きを制限するような部品による妨げがあってもならない。

フロントバンパー（上下パイプ）はシャシーに強固に結合され、表面が平坦でなければならない。フロントバンパーの摩擦を最大化するようないかなる機械加工やその他の作業は厳重に禁止される。

フロントバンパー（上下パイプ）とフロントフェアリングの間隔は、如何なる時も全ての箇所において最少2.7mmなければならない。

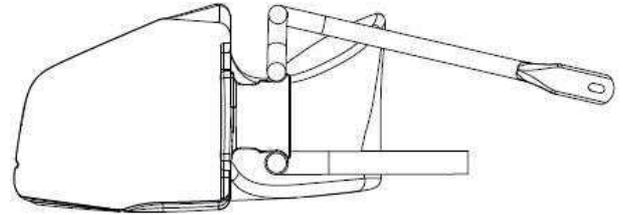
フロントフェアリング取付キットの定義

1. フロントフェアリング用取付具一式（2点+8本のネジ）
2. フロントバンパーサポート（2つのハーフシェル+2本のネジ）
3. 調整可能なフックランプ（2点、金属製のこと）

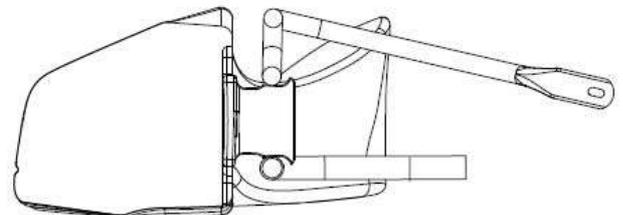
下記の各部品にCIKロゴおよび公認番号の浮き彫りがあること。

1. フロントフェアリング用取付具一式（2点はプラスチック製のこと）
2. フロントバンパーサポート（2つのハーフシェルはプラスチック製のこと）

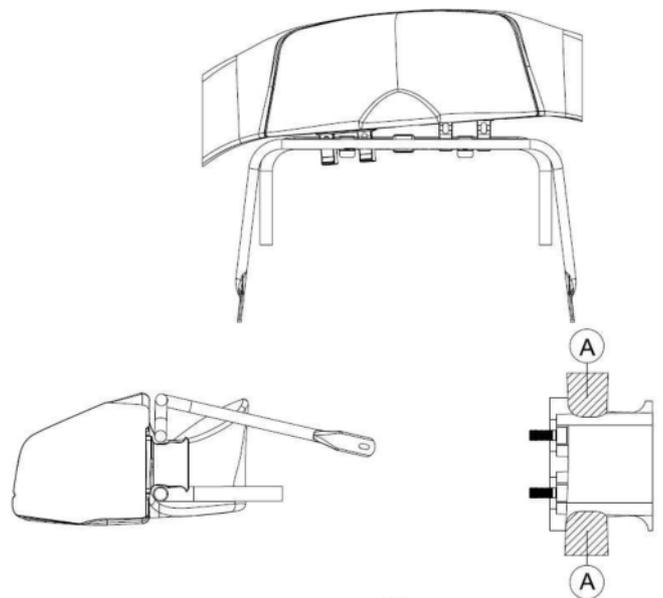
[正しい装着状態]



[許容できる装着状態]



[正しくない装着状態]：フロントバンパーのバーが、矢印で示す斜線の領域内にある状態



2017年地方カート選手権統一規則 FP-3、FS-125部門

本選手権競技会は、一般社団法人日本自動車連盟（以下「JAF」という）の公認のもとにFIA国際モータースポーツ競技規則／国際カート規則およびその付則に準拠したJAF国内競技規則／JAF国内カート競技規則およびその付則、2017年（以下「当該年」という。）日本カート選手権規定、本統一規則（FC-2部門は適用しない）、および競技会特別規則に従って開催される。

第1章 競技会開催に関する事項

第1条 開催日程、場所およびオーガナイザー
競技会毎に示す。

第2条 競技会組織委員会および審査委員会
特別規則書にて示す。

第3条 競技会競技役員
特別規則書にて示す。

第4条 競技会事務局
1. 第1条に示してある各々のオーガナイザーとする。
2. 開催場所所在地および当日の事務局所在地は公式通知にて示す。

第5条 競技の種別、区分と格式
1. 種目：スプリントレース
2. 区分：フォーミュラピストン3（FP-3）部門
フォーミュラスーパー125（FS-125）部門
3. 格式：準国内格式

第6条 公式通知に関する規定
本統一規則および特別規則に記載されていない競技運営に関する実施細目およびエントラント、ドライバー、ピット要員に対する指示事項は、公式通知によって示され公示は次の方法による。

1. 開催期日の前日まで競技会事務局内に提示されるとともにエントリー申込書に記入してあるエントラントの連絡先に送付する。
2. 開催当日
開催場所の事務局設置場所

第7条 クレデンシャルの着用
本競技会に関係する全ての者は、場内ではオーガナイザーが発行したクレデンシャルを着けなければならない。

第8条 延期、中止または取止めおよび変更に関する事項

「カート競技会組織に関する規定」第6条に基づき、オーガナイザーは、競技会審査委員会の承認を得て競技会の一部あるいは全部を延期し、中止し、または取止めることができる。競技会の全部を中止し、あるいは24時間以上延期する場合は、エントリー・フィーは保険料を除き全額返還される。但し天災地変の場合はこの限りでなく、保険料は返還されない。

なお、エントラントおよびドライバーはこれによって生じる損失についてオーガナイザーに抗議する権利を保有しない。さらにオーガナイザーは、審査委員会の承認を得てイベントの内容を変更する権限も、併せて保有するものとする。これに対する抗議は認めない。

第2章 競技会参加に関する事項

第9条 エントリーの受付

1. エントリーの受付期間
 - 1) エントリーの受付期間
競技会開催日2ヶ月前より3週間前まで。
 - 2) 郵送によるエントリーの受付
競技会開催日2ヶ月前より3週間前までの消印有効。但し、書留にて郵送する。
 - 3) 受理または拒否の通知の発送日
競技会開催日の2週間前から開催当日を除き5日前までの消印をもって発送する。
2. エントリーの受付時間
AM 9:00～PM 5:00
3. 受付場所
第1条に示してある各々のオーガナイザーとする。
4. エントリーする際に必要なもの
 - 1) 参加申込書
 - 2) 競技会参加に関する誓約書
 - 3) ピット要員登録申込書
 - 4) エントリー・フィー
 - 5) 車両申告書

第10条 エントリー・フィーおよびピット登録料
特別規則書にて示す。

第11条 保険

1. オーガナイザーの付保する保険とは別にドライバー90万円、ピット要員1名400万円以上のカート競技に有効な保険に加入していなければならない。
2. オーガナイザーの付保する保険の内容（保険料、保険金、保険金支払の方法）については、特別規則書に示される。

第12条 エントリーの方法

1. 本選手権競技会にエントリーする者は、エントラントの統轄のもとにエントリーしなければならない。

2. ピット要員はドライバー1名につき2名以内とする。

第13条 エントリーの資格

1. エントラント：

当該年度有効なるエントラントライセンスの所持者

2. ドライバーの出場資格：

地方選手権競技に出場するドライバーは、部門毎に以下の条件の何れかを満たしていること。

なお、1つの競技会における同一ドライバーの参加できる部門は、1部門のみとする。

1) 国内Bドライバーライセンス以上の所持者。

2) ジュニアAまたはジュニア国際ドライバーライセンス所持者(満13歳以上または当該年に満13歳になる者)で、下記の何れかの条件を満たす者。

(1) 当該年の前年のジュニア選手権競技会に出場した実績のある者。

(2) 参加申込時点において過去12か月以内にクローズド格式以上の競技に3回以上出場した実績(ライセンス取得後の実績)のある者。

3) 地域シリーズとして開催されるFP-3部門は、国内Bドライバーライセンス以上の所持者とする。

第14条 エントリーの受理と拒否

1. オーガナイザーは、理由を示すことなくエントリーの受理を拒否することができ、かつその行為をもって最終の決定とする。この場合エントリー・フィーおよび保険料は全額返還される。

2. エントリーの正式受理または拒否通知は、本統一規則第9条1. 3) に示す期間内に、エントラント宛に発送される(「カート競技会組織に関する規定」第23~26条)。

3. エントリーの正式受理の発表後参加を取り消した者に対してはエントリー・フィーを返還しない。

第15条 シャシー、エンジンおよびタイヤの登録

競技に使用するシャシー、エンジンおよびタイヤは、車両申告書に登録済みのもののみとする。公式練習は登録していないタイヤを使用することができる。登録できる個数は下記の通りとする。

	FP-3	FS-125
シャシー	1台	1台
エンジン	1基	1基
タイヤ	1セット(ドライ・ウエット)	1セット(ドライ・ウエット)

第3章 エンジンおよびカートに関する事項

第16条 エンジン

1. エンジン

1) FP-3部門：

「JAF国内カート競技車両規則」および当該年の地方選手権FP-3部門適用車両規定に合致したピストンバルブ方式のJAF公認エンジンとし、下記開催場所別にJAFが指定したワンメイクエンジンとする。

・東/西地域：ヤマハKT100SEC、
ヤマハKT100SD

2) FS-125部門：

「JAF国内カート競技車両規則」および当該年の地方選手権FS-125部門車両規定に合致したJAFまたはCIK-FIAに登録されたエンジンとし、下記開催場所別にJAFが指定したワンメイクエンジンとする。

・東/西地域：IAME PARILLA X30

2. 変更(交換)

登録済みエンジンが故障、破損等した場合には、競技会審査委員会の承認のもとに、以下を条件に1競技会1回変更(交換)することができる。なお、変更(交換)の申請は、各ヒートのスタート20分前までとし、競技会事務局に提出すること。

1) 変更(交換)後のヒートのグリッドポジションは、最後尾(複数名の場合、最も遅く申告した者を最後尾とする)とする。

2) 再登録料(特別規則書にて示す)

3. 封印(マーキング)

封印(マーキング)が外れそう(消えそう)な状態になった場合は、事前に技術委員長に申し出ること。封印(マーキング)に関する故意の違反があった場合には当該競技会は失格とする。なお、違反の内容によっては当該年度の選手権の全得点を無効とする場合がある。

1) FP-3部門

(1) シリンダーヘッド・シリンダヘッドナットには車検の際の封印のための穴をそれぞれ1つ施さなければならない。

(2) 車検時においてエンジンの封印が実施される。封印マークはJAF指定のものとし、封印後はエンジンの分解は行ってはならない。

(3) 車検時においてマフラーの封印が1本のみ実施される。

(4) 公式練習開始時間前までは、技術委員長の承認のもとにエンジンおよびマフラーの封印の解除、および再登録または再封印が認められる。不慮の事態が生じた場合は、技術委員長の承認のもと交換が認められる。

2) FS-125部門

(1) シリンダーヘッドナット・ケーススタッドボルト等には車検の際の封印のための穴をそれぞれ1つ施さなければならない。

(2) 車検時においてエンジンの封印が実施される。封印マークはJAF指定のものとし、封印後はエンジンの分解を行ってはならない。

(3) 公式練習開始時間前までは、技術委員長の承認のもとにエンジンおよびマフラーの封印の解除、および再登録または再封印が認められる。

なお、エンジンについては、公式練習開始後から決勝終了までの間、技術委員長承認のもとに封印の解除および再封印が認められる。

4. エンジンにはNo. 刻印が打たれていなければならない。

第17条 カート

前条で規定する当該エンジンを搭載し、「JAF国内カート競技車両規則」に合致する第1種競技車両で、かつ次の条件を満たさなければならない。

1. FP-3部門およびFS-125部門で使用するシャシーは、CIK-FIA公認またはJAF公認を取得している製造者によって製造されたものとする。また、車検においてJAF指定の封印が実施される。但し、公式練習開始時間前までは、技術委員長の承認のもとにシャシーの封印の解除、および再登録、再封印が認められる。
2. カートは、前方、後方および側方から明瞭に識別できるよう、競技ナンバーを取り付けなければならない。
3. ナンバープレートは前後に必備とする。その取り付け方および形状については「JAF国内カート競技車両規則」第9条1. および第28条による。側方のナンバーは最小高15cmとする。なお、前方にはフロントパネルを装着しなければならない。

ナンバープレートの色は次の通りとする。

部門	ナンバープレートの色	文字の色
FP-3	黄	黒
FS-125	白	黒

4. 競技ナンバー
 - 1) 前後の競技ナンバーは、エントラントが用意しなければならない。検査を受ける前に取り付けていなければならない。
 - 2) 側方の競技ナンバーはエントラントが用意しなければならない。サイドボックスパネル上の後輪側に、前後競技ナンバーと同色の下地と指定ナンバーを検査を受ける前に取り付けていなければならない。
5. バンパーは前後とも必備とし、その取り付け方については「JAF国内カート競技車両規則」第7条による。
「JAF国内カート競技車両規則」第7条3. の基準Aに従ったバンパーの下側には最小直径15mmの磁気反応鋼管若しくはそれと同等の強度を有する防護バーを取り付けること。
6. チェーンガードは必備としその取り付け方および形状については「JAF国内カート競技車両規則」第12条による。
 - 1) 幅は3cm以上あり車両上方から見てチェーンが見えない状態であること。

2) エンジン側スプロケットとアクスル側スプロケットを結ぶ線の上の部分の有効に覆っていること。

3) 直結の車両においては、車両側方より見てエンジン側スプロケットが見えない状態であること。

4) ドライブスプロケットがキャブレターによって見えない状態の車両においては、キャブレターの調整のためのニードル部分とチェーンとの間を覆っていること。

露出しているチェーンとスプロケットの上部と両側の有効な防護物を構成しており、少なくともリアアクスルの水平面下面まで伸びていることが推奨される。

7. 雨天の場合、吸気消音器にカバー等を装着することができる。
8. 排気装置については「JAF国内カート競技車両規則」第22条による。
FP-3部門で使用するマフラーは、当該エンジン指定のメーカー純正マフラーのみとする。
9. 音量規制については「JAF国内カート競技車両規則」第23条によるものとし、タイムトライアル時78dB(A) + 3dB(A) を越えるものについてはタイムトライアルのみの時間に次の時間を加算し各ヒートへのペナルティは課されない。

音量	加算時間
81.5dB以上82dB未満	0.25秒
82dB以上82.5dB未満	0.5秒
82.5dB以上83dB未満	1秒
83dB以上83.5dB未満	2秒
83.5dB以上84dB未満	4秒

84dBを含み84dBを超えるドライバーはレースから除外される。

10. 競技に使用するタイヤは次の条件に合致したものとする。

JAFによって指定された単一製造者のJAF指定タイヤを使用しなければならない。

- FP-3部門：
 - ・東/西地域：株式会社ブリヂストン
<ドライ用>YNL <ウエット用>SL94
- FS-125部門：
 - ・東/西地域：住友ゴム工業株式会社
<ドライ用>SL9 <ウエット用>SLW2
- セット数
 - 1) 全部門とも、ドライ、ウエット各1セットのみとする。
但し、技術委員長の承認のもとに各1本のみの交換が認められる。
 - 2) 急激な天候の変化のあった場合には、競技会審査委員会の判断により、ウエットタイヤに限り、全選手に追加1セットの交換を認める場合がある。但し、交換は当該ドライバーの任意とする。
 - 3) タイヤはいかなる場合もグルーピングを含み一切の加

工は禁止される。

- 4) タイヤにはオーガナイザーが指定したゼッケン番号を技術委員によってタイヤの両側面に記入される。文字の字体は幅3mm以上の字画で高さ30mm以上とする。

部門	色
FP-3	桃
FS-125	黄

- 1 1. フロントブレーキの装着は禁止する。
- 1 2. キャッチタンク
走行中に燃料タンクからの燃料漏れを防止するために有効な装置を必備とする。
但し、燃料漏れを防止する装置がタンクキャップ等に装備されていることが仕様書等によって証明された場合にはそれを有効な装置とみなす。
- 1 3. 競技中、車両にテレメトリー（データを交信する装置）の装着を禁止する。技術委員に承認されたデータロガー（データ蓄積装置）およびタコメーターの使用は可能とする。但しデータロガー用トランスミッター（発信器）の設置場所はコース外とし、オーガナイザーによって承認された場所のみとする。テレコミュニケーション（遠隔通話装置）の使用は禁止する。これらの事項に対する抗議は一切受け付けられない。

第18条 ボディワーク

「JAF国内カート競技車両規則」第9条に従ったサイドボックス、フロントフェアリング、フロントパネルを必備とする。

「JAF国内カート競技車両規則」第7条3. および第9条に従った、CIK-FIA公認（2006-2011、2009-2014、2012-2017、2015-2020）サイドボックス、フロントフェアリング、フロントパネル、リアプロテクションは、ステー等の公認部品を含み必備とする。

尚、異なる銘柄またはモデルの構成部品による3つのボディワークによる組み合わせが認められる。但し、2つのサイドボックスはセットで共に使用すること。

1. サイドボックスはシャシーに最少2ヶ所で強固に固定されなければならない。その取り付け方は、「JAF国内カート競技車両規則」に従うものとする。
2. FP-3部門の車両は、CIK-FIA公認フロントフェアリングの取付け方式が義務付けられる。
3. FS-125部門の車両は、2015-2020のCIK-FIA公認フロントフェアリング取付けキットの使用が義務付けられる。
4. リアプロテクションの取り付け方については「JAF国内カート競技車両規則」第7条による。

第19条 重量

最低重量は次の通りとする。

部門	最低重量
FP-3	150kg
FS-125	155kg

最低重量を満たすためバラストを積む必要がある時はすべて固形材料を用いボルト・ナットで取付けなければならない。

第20条 燃料

1. ガソリン：
 - 1) 「JAF国内カート競技車両規則」第25条に則った通常のカートスタンドのポンプから販売されている無鉛ガソリンを使用しなければならない。
 - 2) オーガナイザーは、ガソリンの銘柄および供給方法等を指定する必要がある。この場合の詳細事項は、特別規則書又は公式通知に示す。
2. エンジンオイル：
 - 1) 通常市販されている当該年度のCIK-FIA承認オイルのみとし、それ以外の添加物の使用は一切認められない。
 - 2) オーガナイザーは、エンジンオイルの銘柄および供給方法等を指定する必要がある。この場合の詳細事項は、特別規則書又は公式通知に示す。
3. 検査：

ガソリンおよびエンジンオイルについて、予告なく抜き打ち検査（タンク内の燃料を採取する等）を行う場合がある。この場合、エンタラントは、必ずその指示に従わなければならない。

第21条 車両検査

1. 「カート競技会参加に関する規定」第12条に基づき、車両検査が行われる。この際規則に不適合な部分がありながらも、技術委員に見えなかった場合であっても承認を意味するものではなく、レース中にそれに関する疑義が生じた場合は旗の指示を受ける場合がある。
2. 車両検査の日時および場所は特別規則または公式通知によって示される。
3. ドライバーは、車両検査に立ち会わなければならない。
4. ドライバーの服装に関しては「カート競技会参加に関する規定」第11条を適用する。また、車両検査時においては、技術委員の点検を受けるものとする。レーシングスーツは皮製またはCIK-FIA公認またはJAF公認のものとする。
5. 各ヒート終了時には、「JAF国内カート競技車両規則」に定める必備の部品が備わっていること。
6. 「カート競技会運営に関する規定」第31条に基づき、レース後トラック上で計量が行われる。
7. 技術委員長は、競技会審査委員会の指示に基づき、FS-125部門のエンタラントに対し当該車両の点火装置を技術委員長の指定する同一型式の他のものに交換させる場

合がある。当該指示のあった場合は交換作業に従わなければならない。本件に関する抗議は認められない。

第4章 競技に関する事項

第22条 ブリーフィング

競技長は公式練習に先立ち、競技会審査委員会の出席を得て、エントラントおよびドライバーを対象としたブリーフィングを開催する。

すべてのエントラントおよびドライバーはブリーフィングに出席し、かつ出席表に署名しなければならない。

ブリーフィングに遅刻、欠席した場合は、オーガナイザーが定める再ブリーフィング料を支払い、再ブリーフィングを受けなければならない。

第23条 公式練習

「カート競技会運営に関する規定」第23条および第24条に基づき、最低10分間の公式練習を行う。但し、ピットアウトしスタートラインを通過する前に本コースで停止した場合も、公式練習に参加したものと認められる。

第24条 タイムトライアル

- すべてのドライバーは、タイムトライアルに参加しなければならない。タイムトライアルに参加しない場合はタイムトライアル失格とし、予選ヒートは最後尾スタートとなる。
- タイムトライアルのグループ分け
 - 出場台数が当該競技開催コースの最大出走台数の70%（小数点以下四捨五入）以内の場合：
グループ分けはせずに7分間のタイムトライアルを行う。
 - 出場台数が当該競技開催コースの最大出走台数の70%（小数点以下四捨五入）を超える場合：
 - 1 グループの出走台数が最大出走台数の70%（小数点以下四捨五入）を超えず、かつ可能な限り同数となる複数のグループに分けられ、各グループ7分間のタイムトライアルを行う。
 - 2 グループ分けは、競技会当日の参加確認受付時に抽選により決定し、ドライバーズブリーフィング開始時までに公式通知にて行う。
- ドライバーは、タイムトライアルとして設定された時間内であれば任意に出走し、時間内であれば途中で停止した場合も再トライすることができる。但し、ピットに戻った場合は再トライすることはできない。
- タイムトライアル中の計測は、コースイン後にスタートラインを通過したカートに対して全てのラップを計測し、ベストラップのタイムを採用する。
- 上記4. で記録したベストラップが同タイムの場合は、当該ドライバーが記録したセカンドラップを採用する。

更に同タイムとなった場合もこれに準ずる（サードラップ以降のタイム）。

6. その他の方法で行う場合は公式通知に示す。（不可抗力により上記1. ～5. が採用できない場合）

第25条 選手権競技の方式

競技は予選1ヒート、決勝1ヒートとし、決勝ヒートの結果により最終順位を決定する。出場台数によっては、予選ヒート終了後セカンドチャンスヒートを実施する。

1つの部門の出場台数が15台に達しない場合、併催する他の部門と混走させることができる。混走させる場合のスターティンググリッドは、馬力の高い部門順に首位から並ぶこととし、決勝の結果は部門別に順位が付けられる。いかなる場合も、全日本/ジュニアカート選手権の部門およびジュニアカテゴリーとの混走は認められない。

第26条 予選ヒート

- 予選ヒートのグリッドポジション
 - ケースA：
タイムトライアルでグループ分けが無かった場合、各ドライバーが記録した最速タイムの順番による。
 - ケースB：
タイムトライアルでグループ分け（2組）があり、一方の組の最速タイムと別の組の最速タイムの差が102%を超えない場合、出走したグループに関わらず、各ドライバーが記録した最速タイムの順番による。
 - ケースC：
タイムトライアルでグループ分け（2組）があり、一方の組の最速タイムと別の組の最速タイムの差が102%を超える場合、1位は第1組の最速タイム（総合最速タイム）とし、2位は第2組の最速タイム、3位は第1組で2番目に速いタイム、4位は第2組で2番目に速いタイム、5位は第1組で3番目に速いタイム、以下同様に決定する。
 - ケースD：
更にタイムトライアルでのグループ分け（3組以上）があった場合、上記2）および3）の原則に従い、決定する。
- 予選のグループ分けと決勝出場者の決定
 - ケースA：
出場台数が当該競技開催コースの最大出走台数以内の場合、グループ分けは行わず、ポイントの多い順に決勝出場者を決定する。
 - ケースB：
当該競技開催コースの最大出走台数を超える出場台数があった場合は、予選を2グループ以上に分けて予選ヒートを行う。2グループに分ける場合は、Aグループをタイムトライアル奇数順位、Bグループを偶数順位とし、Aグループ予選の結果、両グループのポイントの多い順

に下表の通り決勝出場者を決定し、これ以下の者は予選落ちとなる。

当該競技開催コースの最大出走台数	最大出走台数を超える出場台数があつた場合の決勝出場台数
34台	28台
32台	26台
30台	25台
28台	23台
26台	21台
24台	20台

3. ヒートポイント

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
得点	100点	90点	81点	73点	66点	59点	53点	48点	43点	39点
順位	11位	12位	13位	14位	15位	16位	17位	18位	19位	20位
得点	35点	31点	28点	25点	23点	21点	19点	17点	15点	13点
順位	21位	22位	23位	24位	25位	26位	27位	28位	29位	30位
得点	12点	11点	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点
順位	31位	32位	以下0点							
得点	2点	1点								

- ペナルティポイントがあつた場合は、下位の順位のポイントまで減算される。但し、最下位ポイントを限度とする。その他の選手の順位の移動（繰り上げ、繰り下げ）はない。
- 失格者
失格者は最下位となる。ポイントも最下位ポイント（何名いても）となる（Aグループのグリッド数に準ずる）。
- 不出走者
不出走者は最下位より1位下の順位のポイントとなる。但し、0点を限度とする。
- 予選ヒートの走行距離は次の通りとし、周回数は競技会毎に示す。
15 km（または15分）以上25 km（25分）以内。
- 決勝進出台数は当該競技開催コースの最大出走台数とし、競技会毎に示す。

第27条 セカンドチャンスヒート

- セカンドチャンスヒートの出場資格
前条2. 2)の予選ヒートを通過しなかつた者は、予選ヒートのポイントの多い順に下表の通りセカンドチャンスヒートに出場し、当該競技開催コースの最大出走台数に応

じて決勝に出場する資格を得ることができる。

当該競技開催コースの最大出走台数	セカンドチャンスヒートの結果により決勝に出場できる台数
34台	上位6台
32台	上位6台
30台	上位5台
28台	上位5台
26台	上位5台
24台	上位4台

- セカンドチャンスヒートの走行距離は次の通りとし、周回数は競技会毎に示す。
約10 km（または約10分）。

第28条 決勝

- 決勝の出場資格とグリッドポジション
 - ケースA：
 - 予選ヒートがケースAで実施された場合、予選を通過した者は全て決勝に出場できる。
 - グリッドポジションは、予選でのポイント（ペナルティポイントは減算）の多い順とし、同ポイントの場合はタイムトライアルの成績による。
 - ケースB：
 - 予選ヒートがケースBで実施された場合、予選を通過した者とセカンドチャンスヒートにより決勝の出場資格を得た者が決勝に出場できる。
 - グリッドポジションは、予選でのポイント（ペナルティポイントは減算）の多い順とし、同ポイントの場合はタイムトライアルの成績による。セカンドチャンスヒートで決勝の出場資格を得た者は、当該ヒートの順位に従い、後方の位置を占める。
- 決勝も予選と同様のポイントシステムとし、ペナルティポイントがあつた場合は減算される。決勝に限り、失格者と不出走者に対しては、ポイントは与えられない。
同ポイントの場合は着順により最終順位が決定される。
- 決勝ヒートの走行距離は次の通りとし、周回数は競技会毎に示す。
15 km（または15分）以上25 km（25分）以内。

第29条 スタート進行

- スタートは「カート競技会運営に関する規定」第28条2.に基づくローリングスタートとし、次の事項が適用される。
- スタートの合図は灯火信号（または国旗）によって行われる。
 - スタート進行は以下に従い行われる。
 - 競技会特別規則書または公式通知により指定された時間に所定の待機場所に着くこと。このとき合図音およびアナウンスが放送される。

2) 所定の待機場所への進入はフォーメーションラップ5分前に締め切られ、「3min」ボードが示されるまでにカートが所定の場所に着いていなければならない。審査委員会が認めた場合を除き、5分前までに所定の待機場所に進入できなかったカートの出走は認められない。

3) フォーメーションラップの開始は、以下のボード提示に続いて行われる。これらのボードはの提示は合図音とともに行われる。

3min

1min

30sec

4) 「3min」ボードが示される時点で、ドライバーおよび当該ピット要員1名、オフィシャルを除くすべての者は当該エリアから離れなければならない。

5) 「1min」ボードが示される時点で、ピット要員は当該エリアから離れなければならない。また「1min」ボードが示された時点からフォーメーションラップ開始時までの間であればいつでも、ドライバーはエンジンを始動することができる。

「1min」ボード提示後は、ピット要員による援助は一切認められない。

ただし、FP-3部門において「KT100S」が参加する場合は、フォーメーションラップ開始までにピット要員1名の援助を認める。

6) 「30sec」ボードが提示された30秒後に担当オフィシャルにより緑旗が提示され、カートはフォーメーションラップを開始する。

7) エンジン不動等によりスタートが困難なドライバーは、両手または片手を頭上に高く上げ、合図をしなければならない。この場合、黄旗を持つ担当オフィシャルが当該カートの直近に立ち、フォーメーションラップ中のドライバーに警告する。

担当オフィシャルは、フォーメーションラップ開始後、スターティンググリッド上に留まっている全てのカートを所定の位置に移動する。

8) カートは、所定の位置にてピット要員の援助（介入）を受けエンジンを再始動することができる。次いで担当オフィシャルの指示に従いフォーメーションラップの隊列の最後尾に加わり出走できる場合がある。

3. スタートが合図される前に、約1周のフォーメーションラップを行う。フォーメーションラップ中のドライバーは、2列の隊列で低速走行し、スタートラインへ向かう。スタートライン25m手前に引かれたイエローラインを越えるまでは加速してはならない。

4. カートがスタートラインに接近する段階で赤信号が点灯（国旗を静止して提示）し、スタート前の最終的な隊列を形成させるために、イエローライン付近にパイロンを配置することがある。当該パイロンに故意に接触等をしたドライバーに対しては、ペナルティが課せられることがある。

5. 競技長は、フォーメーションが整いイエローライン前に

加速をしていないと判断した場合、赤信号を消灯（国旗を振動提示）してスタートの合図を行い、パイロンが配置されていた場合は、コース委員によって配置したパイロンが撤去される。

フォーメーションとイエローライン前での加速に問題がある場合、競技長は、フォーメーションラップが更に1周行われることを合図するために赤信号の灯火（国旗の静止提示）を続ける（消灯しない）。

6. フォーメーションラップ中のドライバーはオーガナイザーが定める区間での追越しおよび割り込みが禁止され、これに違反した者は当該ヒート失格となる。

7. フォーメーションラップ中に隊列のペースを乱す者があった場合は白・黒旗が示される。フロントローでそれが繰り返された場合は最後尾に繰り下げられる場合がある。

8. フォーメーションラップ中に隊列から遅れた者が隊列の前に出て待つような行為をしてはならない。

9. フォーメーションラップ中に隊列から大きく遅れ、競技長により指示（白地に赤のバツテンのボード表示）された者およびフォーメーションラップ中にピットインした者と周回遅れの者は最後尾に着かなければならない。

10. フォーメーションラップ中にコースをショートカットすることは禁止される。

11. フォーメーションラップ中にポールまたはセカンドのカートが停止または遅れてもローリングは続行される。その際は先頭にいる者にローリングのペースを保つ義務が生じる。

12. スタート後、先頭のカートが1周するまでにスタートラインを越えないカートは、そのヒートを出走することはできない。

第30条 その他競技に関する一般事項

1. 旗の信号については「カート競技会運営に関する規則」第13条に従う。但し、スタート合図は灯火信号または国旗を用いる。

2. コースアウトに対するペナルティは競技長の判断による。

3. 走路審判員が反則または妨害行為とみなしたものについては、ペナルティが課される。更にその行為が、2回以上に及ぶときは失格とする。

4. ドライバー・サインは次の通りとし、これを怠った者に対しては、ペナルティが課せられることがある。

1) コース上で停止した場合のサインは、両手もしくは片手を頭上に高く上げる。

2) ピットイン・ピットアウトのサインは片手を頭上に高く上げる。

3) 黄色の山型を付した緑色旗（ミススタート）が示された場合は各自、片手を頭上に上げ、スピードダウンし、元のローリングスタート時のポジションに戻るものとする。

4) スローダウンするドライバーは、片手を高く上げる。

5. 公式練習、タイムトライアルおよびレース中（フォーメーションラップを含む）コース上で停止した場合は、他を妨害することなく、後続車両通過後、またはコース委員の指示があり、自力で再発進できる場合にのみレースに復帰できるものとする。
6. 公式練習、タイムトライアルおよびレース中（フォーメーションラップを含む）にリタイヤしたドライバーは自分の車両を速やかに安全な場所に移動し、そのヒートが終了するまで「カート競技会参加に関する規定」第11条に規定する装備一式を着用し、車両から離れてはならない。
7. レース中は、コースを外れてショートカットすることは認められず、当該行為はコースアウトとみなされ、ペナルティの対象とする。
8. 工具の持込みおよび工具を用いた修理等は、指定されたエリア（ピットおよびパドック）を除き、一切禁止される。
9. 競技中の燃料補給は禁止する。
10. レース着順1位の者がフィニッシュラインを通過後2分以内に、カートが自力で同ラインを通過したものは、そのラップが加算される。完走者となるためには、チェッカーにかかわらず、規定周回数の1/2以上を完了しなければならない。
11. レースの順位は次の順序により、周回数の多い順に決定される。
 - 1) チェッカーを受けた完走者（規定周回数の1/2以上を完了し、チェッカーを受けた者）。
 - 2) チェッカーを受けない完走者（規定周回数の1/2以上は走行したが、チェッカーを受けなかった者）。
 - 3) 不完走者（チェッカーにかかわらず、規定周回数の1/2以上を走行していない者）。
 - 4) 同周回数の場合は、その周回を先に完了（コントロールライン通過）した者を優先する。
12. レースは着順によるものとし、計時を行わない場合がある。
13. 競技中において、前方の競技ナンバープレートが脱落若しくは脱落しそうな場合はオレンジディスクのある黒旗（番号を添えて提示）が振られる。それに該当するカートは必ず1度ピットインして競技ナンバープレートを取付け直すこと。
14. パドックエリア、ウェイティンググリッドおよびオーガナイザーが指定したエリアにおけるエンジンの始動および作動については、カートが走行可能な装備等を具備し、リアタイヤが地面に接地した状態（リアタイヤが地面に常に接触した状態）でのみ認められる。
ただし、FS-125部門については、オーガナイザーが指定したウォーミングアップエリアにおいては、リアタイヤが地面に接地しない状態でエンジンの始動および作動が認められる。
15. 地方選手権競技の成立とは、部門毎に5台以上の車両が出場しなければならない。

5台に満たない場合は、その部門の選手権は成立しない。
なお、この場合における出場とは、予選ヒートのスタートの際に5台以上のカートがコントロールラインを越えることをいう。

以上の条件を満たした時、地方選手権競技は成立する。

16. 各ヒートは、規定周回数の60%以上が消化された場合、当該レース（ヒート）が成立する。

17. 消火器携帯の義務について

各ドライバーは全ての競技会において、下記条件を備えた消火器を1本以上備えていなければならない。

また、ピット、パドックでの火気厳禁徹底に努めなければならない。

【携帯用消火器の条件】

■種類：ABC粉末タイプ

■大きさ：4型（内容量1.2kg）以上

第31条 審判員

- 1) 国内競技規則10-20に基づく審判員の判定事項は、本統一規則に関する事項とする。
- 2) 審判員の氏名は、公式プログラムまたは公式通知で示される。

第5章 ピットに関する事項

第32条 ピットイン

ピットインする場合はピットロードを徐行しなければならない。かつ必ずピットストップし、エンジンを停止しなければならない。これに違反した場合は当該ヒート失格となる。

第33条 ピットでの作業

ピットは指定された場所を使用しなければならない（競技長から指示があった場合を除く）。またピット内で作業し得るものは当該部門に出場しているドライバーとピット要員のみとし、ピット要員は指定されたクレデンシャルを装着しなければならない。走行中のドライバーに対してピット・サインを送る場合は、ピット要員1名に限り各自のピット・エリア内においてのみ表示することができる。

レース中燃料の補給をしてはならない。

第34条 ピット要員

「カート競技会参加に関する規定」第18条に基づき、ピット要員の行為に関する最終的な責任はエンタラントに帰属するが、レース中における場合は、ドライバーに直接統轄の責任があるものとする。ピット要員による規則の違反は、当該ドライバーに対する黒旗の指示となることがある。

第35条 ピット内

ピットにおける火気の使用を禁止する。燃料の容器は20リットル以内の消防法に適合した金属製の携行缶でなければならない。

い。

第36条 レース中のピット要員

レース中ピット要員は、自己のピットを離れてはならない。

第37条 車両保管

レース終了後の車両保管および車両検査は、次の通りとする。

1. 車両保管および再車両検査を行う。保管が解除になったカートは、エントラントが速やかに引取らなければならない。
2. 決勝ヒート終了後保管時間は30分以上、所定の場所で行われる。
3. 技術委員長は、スタートしたすべての車両に関し検査を行う権限を保有するものとする。技術委員長が検査を行う際は、エントラントもしくはその代理人が、責任をもって車両の分解および組立てを行わなければならない。
但し、関係役員、エントラントおよびドライバー以外は検査に立ち会うことはできない。

上記に対する違反は、競技長によって勧告され、審査委員会によりペナルティが課せられる場合がある。

第6章 ペナルティに関する事項

第38条 ペナルティ

1. ペナルティは次の6種がある。
 - 1) 警告
 - 2) 罰金
 - 3) タイムペナルティ
 - 4) ポイントペナルティ
 - 5) ラップペナルティ
 - 6) 失格(当該タイムトライアル、ヒート、またはレースの失格)
 2. 警告はその必要ありと認められた軽反則に対して発せられる。
 3. 罰金は成績に対するペナルティには至らない違反に適用される。
 4. タイムペナルティは失格には至らない違反に適用される。
 5. ラップペナルティは失格には至らない違反に適用される。
 6. ポイントペナルティは失格には至らない違反に対し予選ヒートおよび決勝ヒートに適用される。
 7. 失格は次の反則行為に課せられる。
 - 1) 規則に反してまたは不当に得たアドバンテージ。
 - 2) 故意に自己または他人の安全を省みることなく行う危険行為。
 - 3) 与えられたオフィシャル指示を故意に無視した際。
 - 4) 与えられたフラッグサインの無視。
- <ペナルティの例>
- (1) エントリーの遅れ(オーガナイザーが認めた場合、但し2週間前まで)
⇒遅延賠償(事務局手数料)
 - (2) 当日受付確認の遅れ(オーガナイザーが認めた場合、但し公式練習まで)
⇒遅延賠償(事務局手数料)
 - (3) 車検の遅れ(オーガナイザーが認めた場合、但し公式練習開始まで)
⇒遅延賠償(事務局手数料)
- 以降本規則第49条による。
- (4) 重量違反
⇒当該タイムトライアル、ヒート等の失格
 - (5) 燃料違反
⇒レース失格
 - (6) 服装違反(車検時に判明した場合)
⇒着順から3位下(3つ下)の順位のポイント
 - (7) 各ヒート終了時に国内カート競技車両規則に定める必備の部品が脱落の場合
⇒当該ヒート失格
 - (8) 公式練習に参加しなかった場合
⇒レース失格
 - (9) フォーマーションラップ中の指定区間での追越し、割込み違反
⇒当該ヒート失格
 - (10) フォーマーションラップ中に隊列のペースを乱した場合(警告旗の後)
⇒着順から3位下(3つ下)の順位のポイント
同行為をフロントローが繰り返した場合
⇒最後尾に繰り下げ
 - (11) スタート時のフライング(警告旗またはミススタート旗の後)
⇒1周減算
 - (12) プッシング、極度のブロッキング(警告旗の後)
⇒着順から3位下(3つ下)の順位のポイント
同行為が著しい場合
⇒当該ヒート失格
 - (13) ショートカットとなるコースアウト
⇒1周減算
 - (14) 黄旗時の追い抜き(公式練習、タイムトライアル)
⇒タイムトライアルの結果に4秒加算
 - (15) 黄旗時の追い抜き(予選ヒート、決勝ヒート)
⇒1周減算
 - (16) 黒旗の無視
⇒レース失格
 - (17) オレンジディスクのある黒旗の無視
⇒当該ヒート失格
 - (18) レース中のコース内での他者の援助(メカニックの立ち入り援助を含む)
⇒当該ヒート失格

公式練習の場合はタイムトライアルに4秒加算

- (19) 工具携帯走行
⇒レース失格
- (20) ピットロード徐行違反
⇒当該ヒート失格
- (21) 指定エリア（ピット、パドック）以外で作業した場合
⇒当該ヒート失格
- (22) ピット要員のオフィシャル指示に対する違反
⇒当該ドライバーのレース失格
- (23) エンジン始動・作動違反
⇒警告または罰金
- (24) これらを含みその他のペナルティについては、特別規則書または公式通知等にて通知もしくは競技長によって勧告され、審査委員会により課される。
- (25) コース上に停止しコース委員の指示に従わなかった場合、また後続車両通過前に再スタートした場合
⇒1周減算
- (26) 公式練習およびタイムトライアルを除き、チェッカー後フィニッシュラインを通過したカートのフロントフェアリングが正しい装着状態でなかった場合
⇒タイムに10秒加算（FS-125部門のみ適用）
- (27) フロントフェアリング装着に関する不正行為
⇒レース失格（FS-125部門のみ適用）

第7章 抗議に関する事項

第39条 抗議の提出

1. 「JAF国内カート競技規則」第40条に基づき、書面をもって抗議料を添付の上、エントラントより競技長に提出するものとする。
2. エントラント、または当該エントラントが文書で正式に指名した代理人のみが抗議権を有する。
3. 「JAF国内競技規則」10-20に従ってなされた審判員の判定、計時装置および音量測定結果、第38条（26）および（27）により課されたペナルティに対する抗議は認められない。
4. 提出された抗議により再車検等を実施し、その抗議が成立した場合には再車検等に要した費用ならびに分解組み立ての費用は、被抗議者であるエントラントまたはドライバーの負担とし、これと反対に当該車両等が規則通りのものであることが判明した場合は抗議提出者がそれらの費用を負担しなければならず、費用の算定については技術委員長に委ねられる。

第40条 抗議提出の時間制限

1. 技術委員または車両検査委員の決定に対する抗議は、決定直後とする。
2. 競技中の過失または反則に対する抗議は、その競技の終

了後30分以内とする。

3. 競技の成績に関する抗議は、その発表後30分以内とする。

第41条 抗議料

20,900円

第8章 成績および賞典に関する事項

第42条 成績および賞典

1. 決勝ヒートの結果により決定する。
2. 賞典はドライバーに対して行われる。

第9章 得点

第43条 得点基準

本選手権競技会のドライバーに与えられる得点は下表aを適用する。得点は決勝ヒートの完走者にのみ与えられ不完走者、失格者および不出走者には与えられない。

(表a)

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
得点	25点	22点	20点	18点	16点	15点	14点	13点	12点	11点
順位	11位	12位	13位	14位	15位	16位	17位	18位	19位	20位
得点	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

但し、競技会出場台数（予選ヒート出走台数）に応じて下表bの通り得点の対象となる順位が制限される。

(表b)

出場台数	得点対象順位	出場台数	得点対象順位
40台以上	20位まで	22~23台	11位まで
38~39台	19位まで	20~21台	10位まで
36~37台	18位まで	18~19台	9位まで
34~35台	17位まで	16~17台	8位まで
32~33台	16位まで	14~15台	7位まで
30~31台	15位まで	12~13台	6位まで
28~29台	14位まで	10~11台	5位まで
26~27台	13位まで	8~9台	4位まで
24~25台	12位まで	5~7台	3位まで

※当該年の日本カート選手権規定第6条および第39条による。

第10章 広告に関する事項

第44条 広告

ナンバープレートに広告を表示することは認められない。

その他の広告については、オーガナイザーは、次のものに関し抹消する権限を有し、かつドライバーはこれを拒否することができない。

1. 公序良俗に反するもの。
2. 政治・宗教に関連したもの。
3. 本競技会に関係するスポンサーと競合するもの。

第11章 その他一般事項

第45条 エントラントおよびドライバーの遵守事項

1. エントラントは、自己の参加に係わるすべての者に、すべての法規および規則を遵守させる責任を有する。
2. エントラント、ドライバーおよびピット要員は本統一規則の下で開催される競技会中に生じた事態について、本連盟ならびにその所属員および競技役員に対していかなる責任も追及しないこと。
3. エントラントおよびドライバー等のチーム関係者は、オーガナイザーまたは審査委員会によって事情聴取を受けた場合は、指示があるまで会場を離れないこと。
4. 指定された場所以外での喫煙は禁止される。
5. 競技期間中に競技開催コースにおいて、エントラント、ドライバーおよびピット要員が飲酒することは禁止される。
6. エントラント、ドライバーおよびピット要員は、スポーツマンらしくからぬ行為、不謹慎な言葉遣い、あるいは競技を妨害する行為をとった場合、当該競技会失格とする。

第46条 コースへの立ち入り

1. 競技会特別規則の組織図に予定されている競技役員およびASNのみがコースに立ち入る権利を有する。
2. プレス代表者は、オーガナイザーに対し特に申請し、許可を得た場合以外はコースに立ち入ることはできない。更に競技役員によって与えられた指示に従わなければならない。

第47条 誓約書の署名

エントラント、ドライバー、ピット要員は参加申込用紙に記載された誓約文に署名捺印しなければならない。

第48条 本統一規則の解釈

本統一規則並びに競技の細則に関する解釈に疑義が生じた場合は、審査委員会の決定を最終的なものとみなす。

第49条 本統一規則の違反

1. 本統一規則に対する違反の罰則は審査委員会の決定により宣告される。
2. 日本カート選手権競技に適用される規則に違反した者に対し、JAFは罰則を課す場合がある。
3. 年齢、ライセンス等、出場資格に制限のある日本カート選手権競技で、その資格に違反してエントリーしたことが

競技会開始後に判明したドライバーについて、JAFは当該年度の選手権の全得点を無効とする場合がある。

第50条 本統一規則の施行ならびに記載されていない事項

1. 本統一規則は当該年の1月1日より施行する。
2. 本統一規則に記載されていない事項については、FIA国際モータースポーツ競技規則と国際カート規則、それに準拠したJAF国内競技規則、JAF国内カート競技規則とその付則に準拠する。
3. 本統一規則発行後、JAFにおいて決定された事項は、すべての規則に優先する。

以上

地方カート選手権FP-3部門適用車両規定

1. エンジンは日本国内仕様のKT100SECまたはKT100SDとし、改造は一切禁止され市販状態とする。但し、カーボンの除去やキズ修正は研磨とみなされない限りの範囲で認められる。
型式は、7YA・7YB・7YD・7YE・7YF・7YT・7YU型に限られる。
2. エンジン改造禁止対象部品
シリンダーヘッド、シリンダーボディー、シリンダーヘッドガスケット、シリンダーガスケット、ピストンピン、ピストンピンクリップ、コンロッド、ベアリング類、クランク、クランクピン、オイルシール、クランクケース、ピストン、ピストンリング、プラグコード
(1) コンロッドは下記パーツNo.の物に限る。
7F6-11651-00、7F6-11651-01、7F6-11651-02
(2) ボアサイズは52.61mmまで可とし、ピストン及びリングのオーバーサイズ純正品への変更が認められる。
(3) ピストンはKT100FP用(7YG)、KT100SP用(J67)の使用が認められる。
(4) シリンダーボディーは側面に、縦10mm横16mmの座及び「7ET」の浮き文字がある物とする。
(5) スキッシュエリアの規定
シリンダーヘッドガスケットはヤマハ純正品：
7ET-11181-10またはSLO調整用ガスケット、銅製で0.05mm厚、0.1mm厚、0.2mm厚の3種いずれかを使用。枚数や厚みの規定はないが、φ3.0mm以上のハンダを使用し、ドライブ側と電気側の両サイドのスキッシュエリア数値2ヶ所を計測し、その潰れた数値(ハンダの厚み)の合計が4.5mm以上であること。
(6) シリンダーヘッドはYAMAHAの浮き文字があり、改造防止のフライス加工を追加した物に限る。
(7) クランクケースは7YA・7YB・7YD・7YE・7YG・7YT・7YU打刻のものに限られる。但し、部品販売品について

は同仕様のものとする。

- (8) クランクシャフトはKT用 (7YA・7YB・7YT・7YP) とKT100FP用 (7YG) およびKT100SP用 (J67) のみとする。

KT用、SP用のクランクシャフト大端ベアリングおよびクランクサイドベアリングの使用が認められる。

- (9) クランクは大端規制方式に限る。

3 吸気系統改造禁止対象部品

キャブレターアッセンブリ、キャブレターガスケット、ジョイントキャブレター、マニホールド、ジョイントエアクリナー

- (1) キャブレターはWB3A、WB21またはWB33でなければならず改造は一切禁止される。また、チョークレバーを取り外し、穴を埋めることは認められる。

但し、キャブレター部品について相互交換及びヤマハ純正部品との交換は認められる。

- (2) CIK-FIA登録、公認または公認実績品の吸気消音器又はヤマハ純正吸気消音器を必備とする。尚、吸気消音器本体（取付部品を除く）の改造は禁止され、吸気孔の1つの穴の大きさはφ23mm以下とする。

- (3) ジョイントキャブレター、マニホールド、ジョイントエアクリナーは下記の部品番号の物とし、改造は一切禁止される。

ジョイントキャブレター

(オレンジ色：787-13586-00、黒色：787-13586-01)

公差±0.5mm

マニホールド 7YA-13585-00

ジョイントエアクリナー 7YF-14453-03

4 点火系統

改造は一切禁止され市販状態とする。

点火方式はTCIとし7ET-85510-01（ステーターとTCIユニットが一体式）に限る。

5 排気系統改造禁止部品

エキゾーストパイプ、マフラー、サイレンサー

7ET型以降の物とし、改造は一切禁止され市販状態とする。

なお、エキゾーストガスケット及びジャバラは純正部品以外の使用が認められる。ただし、ジャバラは内径に変化のあるものおよび整流板などが取り付けられたものの使用は禁止する。

- 6 プラグは一般市販状態のネジ山長19mm以下のものに限る。プラグワッシャーも含めて市販状態とし、ネジ山長の変更禁止。

7 その他

純正部品以外の使用が認められる物は以下の通り。

プラグ、エキゾーストジョイント（ジャバラ）、エキゾーストガスケット、ボルト/ナット（キャブレターインレット部品を除く）、ワッシャー、スプリング、キー（ローターキー除く）ブラケット、ワイヤー、ホ

ース、ホースクリップ、バンド

- 8 最低重量：150kg

- 9 2015-2020公認のフロントフェアリングについては、CIK-FIA公認取付け具に替えてメーカー純正の取付け具も認められる。

以上

地方カート選手権FS-125部門適用車両規定

1 エンジン

- (1) IAME PARILLA X30のみの使用とし、一切の変更・改造は禁止される。また、全ての部品、取付は工場出荷時の状態から変更は認められない。

- (2) シリンダーヘッドの上面に「JAP」又は、「JPN」の刻印があるものに限る。

- (3) シリンダーヘッドガスケットはメーカー純正の0.4mm（部品番号 EBP-125045）のみの使用に限る。メーカー純正オプションの0.2mm（部品番号 EBP-125046）の使用を禁止する。

- (4) リードペダルはメーカー純正グラスファイバー製0.3mm（部品番号 X3011840）のみの使用に限る。メーカー純正オプションカーボン製（部品番号 F-11840-C/F-11841-C）は使用を禁止する。

- (5) クラッチドラム、クラッチシューはX30純正部品のみの使用に限る。

部品番号

クラッチドラム X30125550 又は X30125550A

クラッチシュー X30125840 又は X30125841

スターターギア X30125830 又は X30125831

- (6) ドライブsprocketは#219チェーンサイズ用のみの使用に限る。

- (7) メーカー純正以外で使用できる部品は以下の通りとする。

オイルシール、ドライブsprocket、スモールエンドベアリング、ビッグエンドベアリング、サークリップ、ケースベアリング、バランスシャフトベアリング 6005/6202、ボルト、ナット、ワッシャー、コンロッドワッシャー

但し、ケースベアリングは単列深溝玉軸受ボールベアリング6206番台の開放形に限る。銘柄は自由とする。

2 吸気系統

- (1) キャブレターはX30純正部品のTryton HB27C（ベンチュリー最大の直径26mm以下）のみの使用を可能とし、改造は一切認められない。

- (2) メーカー純正以外で使用できる部品は以下の通りとする。

メタルダイアフラム、ポンプダイアフラム、ダイアフラムガスケット、インレットニードル&ガスケット、メタリングレバー、メタリングレバーピン、インレッ

トスプリング、ストレーナカバー、ストレーナカバー
ガasket、ストレーナスクリーン、ニードルスク
リューOリング

(3) インレットサイレンサー：

X 3 0 純正品（部品番号 10743 または部品番号
10751-A）もしくは以下のものの使用を可能とする。

「J A F 国内カート競技車両規則」第 2 章第 8 条 2 1
（吸気消音器）に従った C I K - F I A 登録、公認または
公認実績品のインレットサイレンサーの装着が義務付け
られる。

ただし、1 つのチューブ径は以下のものに限る。

2 0 0 3 年以前のモデルは 2 2 mm。

2 0 0 4 年以降のモデル（フィルター付）は 2 3 mm。

なお、インレットサイレンサー（吸気消音器）本体の
改造は禁止される。

3 マフラー

(1) 使用できるマフラーは当該エンジン指定のメーカー純
正マフラー（マフラーキャップを含む）に限る。

(2) マフラーキャップは I A M E 刻印のあるものとし、改
造は認められない。

(3) メーカー純正以外で使用できる部品は以下の通りとす
る。

エキゾーストジョイント（ジャバラ）、エキゾーストガ
asket、エキゾーストスプリング

(4) エキゾーストパイプは修理と排気温センサー取り付け
のための溶接は可。

4 ラジエーターパーツ

(1) ラジエーター本体と取付ステーは以下のものに限る。

X 3 0 標準ラジエーター

3 5 0 mm × 1 9 8 mm（部品番号 T-8000A）

X 3 0 標準ラジエーターサポート K I T

（部品番号 T-8133-C）

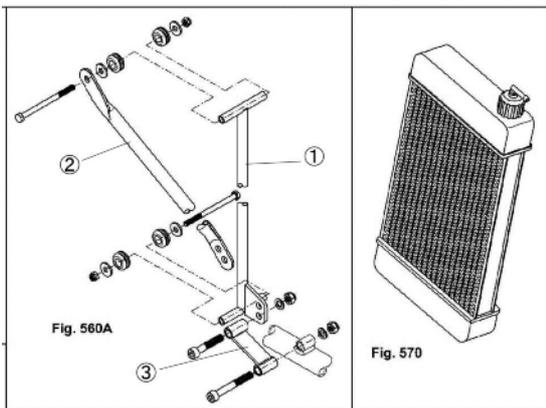
X 3 0 純正オプションラジエーター

4 1 0 mm × 1 9 8 mm（部品番号 T-8000B）

X 3 0 純正ラジエーターサポート K I T

（部品番号 T-8135-C）

※但し、補助ステー（下図②）およびフレーム本体への
取付ステー（下図③）は銘柄を自由とする。



(2) ウォーターポンプ、プーリーはメーカー純正部品の使
用に限る。

(3) サーマスタットは純正部品の使用に限る。

(4) サーマスタットの着脱は自由とする。

(5) メーカー純正以外で使用できる部品は以下の通りとす
る。

ラジエーターホース、ウォーターポンプベルト（Oリン
グ）、ウォーターポンプインナーパーツ（オイルシール、
ベアリング）

5 電気系統

(1) 改造は一切禁止する。

(2) コントロールユニットは R E V リミット 1 5 , 5 0 0
r p m のものに限る。（部品番号 X30125930）

(3) バッテリーの搭載方法はシャシーフレームの周辺、ま
たはフロアに設置する。

(4) バッテリーボックスは銘柄自由。

(5) バッテリー搭載クランプはしっかり固定できるもので
あれば銘柄自由。

(6) プラグは一般市販状態のネジ山長 1 9 mm 以下のもの
に限る。プラグワッシャーも含めて市販状態とし、ネジ
山長の変更禁止。

(7) 以下の電装パーツは X 3 0 純正部品のみの使用に限る。

部品番号

ワイヤーハーネス X30125935-C 又は X30125935D-C
イグニッション S E L E T T R A

X30125950 又は X30125952

スターターリレー X30125941 又は I F E - 0 5 2 0 0

ケーブルハーネスアダプター

2 0 1 2 - 2 0 1 3 変換用 X30125939

(8) メーカー純正以外で使用できる部品は以下の通りとす
る。

バッテリー、プラグ、プラグキャップ、コイルアース
ケーブル

6 最低重量：1 5 5 k g

7 ボディワーク

全日本カート選手権 O K 部門適用車両規定の 2 ボディワ
ークを適用する。

以上

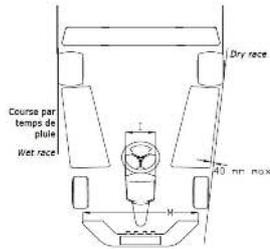
2 0 1 7 年 J A F 国内カート競技車両規則（抜粋）

第 2 章 一般規定

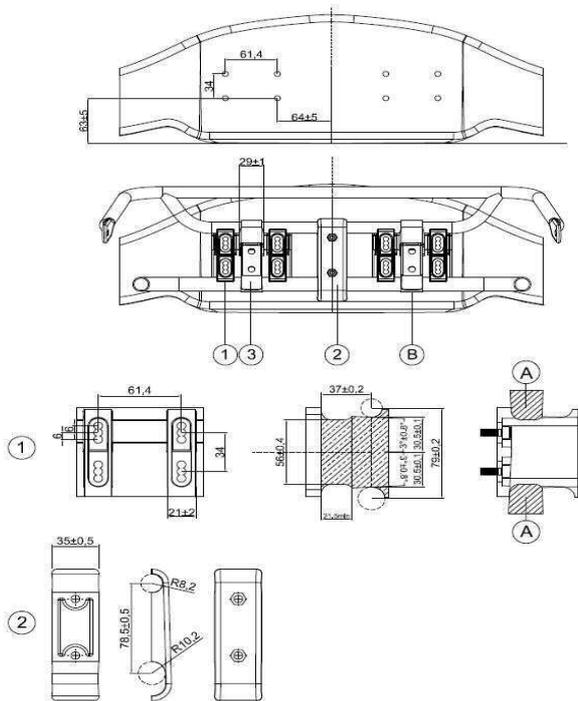
第 7 条 バンパー

5. リアプロテクション

1 3) 如何なる状況下においても、リアプロテクション
は、リアホイール水平面からはみ出してはならない。



2015-2020 CIK-FIA公認フロントフェアリング取り付け方式



- A…この領域にどのような部品も（例えばネジであっても）許されない。
 B…フッククランプは工具を用いることなく手で開け閉めできること。

フロントフェアリング取付キットを使用してフェアリングをカートに取り付けることのみが認められる。他の手段は認められない。フロントフェアリングは、自由にシャシーの方向へ後退できなければならず、その動きを制限するような部品による妨げがあってもならない。

フロントバンパー（上下パイプ）はシャシーに強固に結合され、表面が平坦でなければならない。フロントバンパーの摩擦を最大化するようないかなる機械加工やその他の作業は厳重に禁止される。

フロントバンパー（上下パイプ）とフロントフェアリングの間隔は、如何なる時も全ての箇所において最少27mmなければならない。

フロントフェアリング取付キットの定義

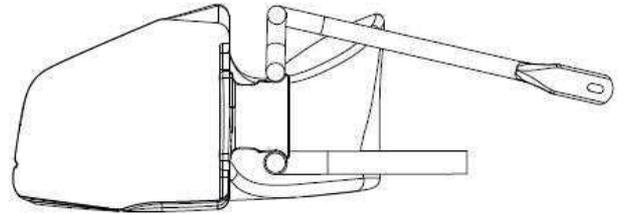
1. フロントフェアリング用取付具一式（2点+8本のネジ）
2. フロントバンパーサポート（2つのハーフシェル+2本のネジ）
3. 調整可能なフッククランプ（2点、金属製のこ）

下記の各部品にCIKロゴおよび公認番号の浮き彫りがあること。

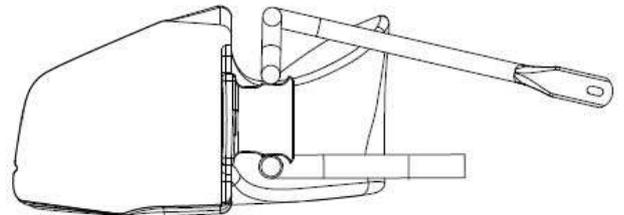
1. フロントフェアリング用取付具一式（2点はプラスチック製のこ）
2. フロントバンパーサポート（2つのハーフシェルはプラスチック製のこ）

<技術図面No. 2 d >

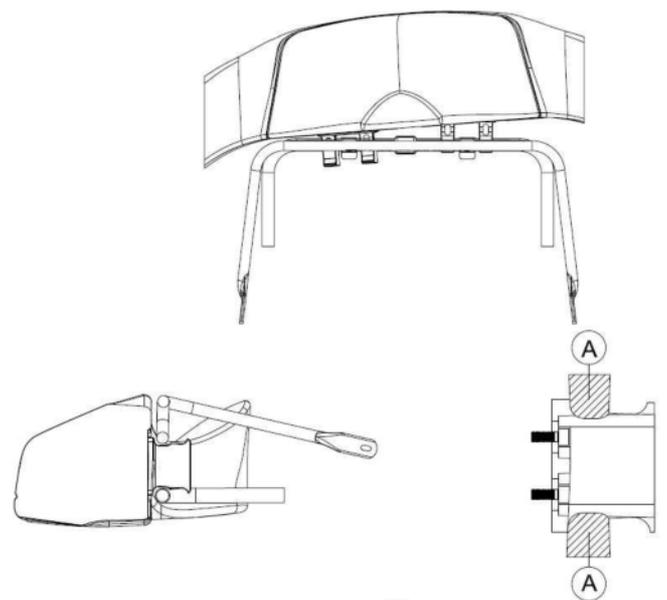
[正しい装着状態]



[許容できる装着状態]



[正しくない装着状態]：フロントバンパーのバーが、矢印で示す斜線の領域内にある状態



2017年ジュニアカート選手権統一規則 FP-Jr、FP-JrCadets部門

本選手権競技会は、一般社団法人日本自動車連盟（以下「JAF」という）の公認のもとにFIA国際モータースポーツ競技規則／国際カート規則およびその付則に準拠したJAF国内競技規則／JAF国内カート競技規則およびその付則、2017年（以下「当該年」という。）日本カート選手権規定、本統一規則、および競技会特別規則に従って開催される。

第1章 競技会開催に関する事項

第1条 開催日程、場所およびオーガナイザー
競技会毎に示す。

第2条 競技会組織委員会および審査委員会
特別規則書にて示す。

第3条 競技会競技役員
特別規則書にて示す。

第4条 競技会事務局
1. 第1条に示してある各々のオーガナイザーとする。
2. 開催場所所在地および当日の事務局所在地は公式通知にて示す。

第5条 競技の種別、区分と格式
1. 種目：スプリントレース
2. 区分：
フォーミュラピストンジュニア（FP-Jr）部門
フォーミュラピストンジュニアカデット
（FP-JrCadets）部門
※FP-JrCadets部門については、地域シリーズ（東・西）競技会とコースシリーズ競技会を開催する。
3. 格式：準国内格式

第6条 公式通知に関する規定
本統一規則および特別規則に記載されていない競技運営に関する実施細目およびエントラント、ドライバー、ピット要員に対する指示事項は、公式通知によって示され公示は次の方法による。

1. 開催期日の前日まで競技会事務局内に提示されるとともにエントリー申込書に記入してあるエントラントの連絡先に送付する。
2. 開催当日
開催場所の事務局設置場所

第7条 クレデンシャルの着用

本競技会に係る全ての者は、場内ではオーガナイザーが発行したクレデンシャルを着けなければならない。

第8条 延期、中止または取止めおよび変更に関する事項
「カート競技会組織に関する規定」第6条に基づき、オーガナイザーは、競技会審査委員会の承認を得て競技会の一部あるいは全部を延期し、中止し、または取止めることができる。競技会の全部を中止し、あるいは24時間以上延期する場合は、エントリー・フィーは保険料を除き全額返還される。但し天災地変の場合はこの限りでない。保険料は返還されない。

なお、エントラントおよびドライバーはこれによって生じる損失についてオーガナイザーに抗議する権利を保有しない。さらにオーガナイザーは、審査委員会の承認を得てイベントの内容を変更する権限も、併せて保有するものとする。これに対する抗議は認めない。

第2章 競技会参加に関する事項

第9条 エントリーの受付

1. エントリーの受付期間
 - 1) エントリーの受付期間
競技会開催日2ヶ月前より3週間前まで。
 - 2) 郵送によるエントリーの受付
競技会開催日2ヶ月前より3週間前までの消印有効。但し、書留にて郵送する。
 - 3) 受理または拒否の通知の発送日
競技会開催日の2週間前から開催当日を除き5日前までの消印をもって発送する。
2. エントリーの受付時間
AM 9:00～PM 5:00
3. 受付場所
第1条に示してある各々のオーガナイザーとする。
4. エントリーする際に必要なもの
 - 1) 参加申込書
 - 2) 競技会参加に関する誓約書
 - 3) 親権者または保護者の出場承諾書
 - 4) ピット要員登録申込書
 - 5) エントリー・フィー
 - 6) 車両申告書

第10条 エントリー・フィーおよびピット登録料
特別規則書にて示す。

第11条 保険

1. オーガナイザーの付保する保険とは別にドライバー900万円、ピット要員1名400万円以上のカート競技に有効な保険に加入していなければならない。

2. オーガナイザーの付保する保険の内容(保険料、保険金、保険金支払の方法)については、特別規則書に示される。

第12条 エントリーの方法

1. 本選手権競技会にエントリーする者は、エントラントの統轄のもとにエントリーしなければならない。
2. ピット要員はドライバー1名につき2名以内とする。

第13条 エントリーの資格

1. エントラント：

当該年度有効なるエントラントライセンスの所持者
2. ドライバーの出場資格：

ジュニアカート選手権競技に出場するドライバーは、部門毎に以下の条件を満たしていること。

ドライバーが出場できる地域および参加部門は何れかの地域ならびに部門に限定され、シリーズの途中で変更することはできない。

1) フォーミュラピストンジュニア (FP-Jr) 部門

(1) ライセンス

ジュニアドライバーライセンス所持者とする。

ただし、ジュニアBカートドライバーライセンス所持者は、参加申込時点において、以下の何れかの実績を満たす者。

- ①ライセンス取得後クローズド格式以上の競技会に3回以上出場した実績を有する者。
- ②JAFによって特に認められた者(海外での実績等)。

(2) 年齢制限

12歳(12歳の誕生日を迎える当該年)以上15歳未満の者。

なお、当該年に15歳に達しても、一般ライセンスを取得しなければ、その年のジュニア選手権競技に出場することが認められる。

(3) 東西統一競技会

- ①当該年の東地域、西地域夫々で開催されたジュニア選手権の地域シリーズ競技会の何れかの部門に出場した実績を有する者。
- ②出場できる部門は、ドライバーが当該年に出場した部門に限定する。

2) フォーミュラピストンジュニアカデット (FP-Jr Cadets) 部門

(1) ライセンス

ジュニアドライバーライセンス所持者とする。

ただし、ジュニアBカートドライバーライセンス所持者は、参加申込時点において、以下の何れかの実績を満たす者。

- ①ライセンス取得後クローズド格式以上の競技会に3回以上出場した実績を有する者。
- ②ライセンス取得後JAF公認カートコースにおけ

るスポーツ走行の経験時間が20時間以上あり、その証明を有する者。

③JAFによって特に認められた者(海外での実績等)。

(2) 年齢制限

10歳(10歳の誕生日を迎える当該年)以上13歳未満の者。

なお、当該年に13歳に達しても、その年のジュニア選手権競技に出場することが認められる。

(3) 東西統一競技会

①当該年の東地域、西地域夫々で開催されたジュニア選手権の地域シリーズ競技会またはコース毎に開催されたジュニア選手権のコースシリーズ競技会の何れかの部門に出場した実績を有する者。

②出場できる部門は、ドライバーが当該年に出場した部門に限定する。

3. 同一競技会へのダブルエントリーは禁止される。

第14条 エントリーの受理と拒否

1. オーガナイザーは、理由を示すことなくエントリーの受理を拒否することができ、かつその行為をもって最終の決定とする。この場合エントリー・フィーおよび保険料は全額返還される。
2. エントリーの正式受理または拒否通知は、本統一規則第9条1.3)に示す期間内に、エントラント宛に発送される(「カート競技会組織に関する規定」第23~26条)。
3. エントリーの正式受理の発表後参加を取り消した者に対してはエントリー・フィーを返還しない。

第15条 シャシー、エンジンおよびタイヤの登録

競技に使用するシャシー、エンジンおよびタイヤは、車両申告書に登録済みのもののみとする。公式練習は登録したタイヤを使用すること。登録できる個数は下記の通りとする。

	FP-Jr	FP-JrCadets
シャシー	1台	1台
エンジン	1基 (ワンメイクリパリーエンジン)	1基 (ワンメイクリパリーエンジン)
タイヤ	1セット(ドライ・ウエット)	1セット(ドライ・ウエット)

第3章 エンジンおよびカートに関する事項

第16条 エンジン

1. エンジン

1) FP-Jr部門：

「JAF国内カート競技車両規則」および当該年のジュニア選手権FP-Jr部門適用車両規定に合致したピストンバルブ方式のJAF公認エンジンで、オーガナイザーによって配付されるワンメイクエンジンとする。

2) FP-JrCadets部門:

「JAF国内カート競技車両規則」および当該年のジュニア選手権FP-JrCadets部門適用車両規定に合致したピストンバルブ方式のJAF公認エンジンで、オーガナイザーによって配付されるワンメイクエンジンとする。

2. 変更(交換)

登録済みエンジンが故障、破損等した場合には、競技会審査委員会の承認のもとに、以下を条件に1競技会1回変更(交換)することができる。なお、変更(交換)の申請は、各ヒートのスタート20分前までとし、競技会事務局に提出すること。

1) 変更(交換)後のヒートのグリッドポジションは、最後尾(複数名の場合、最も遅く申告した者を最後尾とする)とする。

2) 再登録料(特別規則書にて示す)

3. 封印

1) 封印済のエンジンが配付される。封印マークはJAF指定のものとし、封印済エンジンの分解は行ってはならない。封印が外れそうな状態になった場合は、事前に技術委員長に申し出ること。封印に関する故意の違反があった場合には当該競技会は失格とする。なお、違反の内容によっては当該年度の選手権の全得点を無効とする場合がある。

2) 車検時においてマフラーの封印が1本のみ実施される。

3) 公式練習開始前までは、技術委員長の承認のもとにエンジンおよびマフラーの封印の解除、および再登録または再封印が認められる。不慮の事態が生じた場合は、技術委員長の承認のもと交換が認められる。

尚、エンジンについては、公式練習開始後から決勝終了までの間、技術委員長の承認のもとに封印の解除および再封印が認められる。

4. エンジンにはNo. 刻印が打たれていなければならない。

5. キャブレター

メーカー純正のセンターアクスルのバタフライ方式のキャブレターで、そのベンチュリーの最大直径は「JAF国内カート競技車両規則」第29条4. の公差を既に含んで24mmでなければならない。すべてのスライドキャブレター方式は禁止される。

第17条 カート

前条で規定する当該エンジンを搭載し、「JAF国内カート競技車両規則」に合致する第1種競技車両で、かつ次の条件を満たさなければならない。

1. FP-Jr部門で使用されるシャシーは、CIK-FIA公認またはJAF公認を取得している製造者によって製造されたものとする。FP-JrCadets部門で使用されるシャシーは、ボディワークを含み、「JAF国内カート競技車両規則」第29条に従い、JAFに申請されたも

のでなければならない。また、車検時においてシャシーにJAF指定の封印が実施される。但し、公式練習開始時間前までは、技術委員長の承認のもとにシャシーの封印の解除、および再登録、再封印が認められる。

2. カートは、前方、後方および側方から明瞭に識別できるよう、競技ナンバーを取り付けなければならない。

3. ナンバープレートは前後に必備とする。その取り付け方および形状については「JAF国内カート競技車両規則」第9条1. および第28条による。側方のナンバーは最小高15cmとする。なお、前方にはフロントパネルを装着しなければならない。

ナンバープレートの色は次の通りとする。

部門	ナンバープレートの色	文字の色
FP-Jr	黄	黒
FP-JrCadets	白	黒

4. 競技ナンバー

1) 前後の競技ナンバーは、JAFが指定したものを、検査を受ける前に取り付けていなければならない。

2) 側方の競技ナンバーは、JAFが指定したものを、サイドボックスパネル上の後輪側に、検査を受ける前に取り付けていなければならない。

5. フロントバンパーは必備とし、その取り付け方については「JAF国内カート競技車両規則」第7条による。

6. チェーンガードは必備としその取り付け方および形状については「JAF国内カート競技車両規則」第12条による。

1) 幅は3cm以上あり車両上方から見てチェーンが見えない状態であること。

2) エンジン側スプロケットとアクスル側スプロケットを結ぶ線の上の部分の有効に覆っていること。

3) 車両側方より見てエンジン側スプロケットが見えない状態であること。

4) 遠心クラッチを覆う効果的な保護物(アルミニウム製またはプラスチック製)が取り付けられていなければならない。ただし、チェーンまたはベルトに干渉しないこと。

露出しているチェーンとスプロケットの上部と両側の有効な防護物を構成しており、少なくともリアアクスルの水平面下面まで伸びていることが推奨される。

7. 雨天の場合、吸気消音器にカバー等を装着することができる。

8. 排気装置については「JAF国内カート競技車両規則」第22条による。使用できるマフラーは封印されたもののみとする。FP-Jr部門およびFP-JrCadets部門で使用されるマフラーは、当該エンジン指定のメーカー純正マフラーのみとする。

9. 音量規制については「JAF国内カート競技車両規則」第23条によるものとし、タイムトライアル時78dB

(A) +3 dB (A) を越えるものについてはタイムトライアルのみの時間に次の時間を加算し各ヒートへのペナルティは課されない。

音量	加算時間
81. 5dB以上82dB未満	0. 25秒
82dB以上82. 5dB未満	0. 5秒
82. 5dB以上83dB未満	1秒
83dB以上83. 5dB未満	2秒
83. 5dB以上84dB未満	4秒

84 dBを含み84 dBを超えるドライバーはレースから除外される。

10. 競技に使用するタイヤは次の条件に合致したものとす。FP-Jr部門およびFP-JrCadets部門で使用するタイヤは、下記5)に定めるディストリビューション制とする。

1) 各部門に使用できるタイヤは、JAFによって指定された単一製造者のJAF指定タイヤとし、次の通りとする。

●FP-Jr部門：

- ・東/西地域：ブリヂストン株式会社
 <ドライ用>YNL <ウエット用>SL94

●FP-JrCadets部門：

- ・東/西地域：横浜ゴム株式会社
 <ドライ用>SLJ <ウエット用>SL03

●セット数

- 1) 全部門とも、ドライ、ウエット各1セットのみとする。但し、技術委員長承認のもとに、1本のみの交換が認められる。
- 2) 急激な天候の変化があった場合には、競技会審査委員会の判断により、ウエットタイヤに限り、全選手に追加1セットの交換を認める場合がある。
 但し、交換は当該ドライバーの任意とする。
- 3) タイヤはいかなる場合もグルーピングを含み一切の加工は禁止される。
- 4) タイヤにはオーガナイザーが指定したゼッケン番号を技術委員によってタイヤの両側面に記入される。

文字の字体は幅3mm以上の字画で高さ30mm以上とする。

部門	色
FP-Jr	黄
FP-JrCadets	白

- 5) 使用するタイヤのディストリビューションは、特別規則又は公式通知にて示される時間帯にオーガナイザーが指定した場所にて、審査委員1名の立ち会いのもと次の要領で行うものとし、詳細事項は特別規則書又は公式通知に示す。但し、ウエットタイヤおよび交換タイヤ1本は除外する。

(1) 各エントラントは、予めオーガナイザーから配付された受領書と引き換えに当該競技会で使用する本数の未使用タイヤ（パッケージ済のもの等（例）で接地面裏面およびタイヤ両側面には技術委員による封印済）が手渡される。

(2) タイヤのリムへの取り付けは、各自のパドックまたはオーガナイザーによって指定された場所で行うこととする。

(3) 分配されたタイヤをパドック外へ持ち出すことは認められない。

11. キャッチタンク

走行中に燃料タンクからの燃料漏れを防止するために有効な装置を必備とする。

但し、燃料漏れを防止する装置がタンクキャップ等に装備されていることが仕様書等によって証明された場合にはそれを有効な装置とみなす。

12. 競技中、車両にテレメトリー（データを交信する装置）の装着を禁止する。技術委員に承認されたデータロガー（データ蓄積装置）およびタコメーターの使用は可能とする。但しデータロガー用トランスミッター（発信器）の設置場所はコース外とし、オーガナイザーによって承認された場所のみとする。テレコミュニケーション（遠隔通話装置）の使用は禁止する。これらの事項に対する抗議は一切受け付けられない。

第18条 ボディワーク

1. FP-Jr部門：

「JAF国内カート競技車両規則」第9条に従った、CIK-FIA公認（2006-2011、2009-2014、2012-2017、2015-2020）サイドボックス、フロントフェアリング、フロントパネル、リアプロテクションは、ステー等の公認部品を含み必備とする。

尚、異なる銘柄またはモデルの構成部品による3つのボディワークによる組み合わせが認められる。但し、2つのサイドボックスはセットで共に使用すること。

2. FP-JrCadets部門：

「JAF国内カート競技車両規則」第9条に従ったサイドボックス、フロントフェアリング、フロントパネルを必備とし、かつ同第29条に従いJAFに申請されたものでなければならない。

尚、異なる銘柄またはモデルの構成部品による3つのボディワークによる組み合わせが認められる。但し、2つのサイドボックスはセットで共に使用すること。

また、同第7条に従ったリアプロテクションを必備とする。

3. サイドボックスはシャシーに最少2ヶ所で強固に固定されなければならない。その取り付け方は、「JAF国内カート競技車両規則」に従うものとする。

4. FP-Jr部門の車両は、2015-2020のCIK

ーF I A公認フロントフェアリング取付キットの使用が義務付けられる。

5. リアプロテクションの取り付け方については「J A F国内カート競技車両規則」第7条による。

第19条 重量

最低重量は次の通りとする。

部門	最低重量
FP-Jr	138kg
FP-JrCadets	113kg

最低重量を満たすためバラストを積む必要がある時はすべて固形材料を用いボルト・ナットで取付けなければならない。

第20条 燃料

1. ガソリン：

1) 「J A F国内カート競技車両規則」第25条に則った通常ガソリンスタンドのポンプから販売されている無鉛ガソリンを使用しなければならない。

2) オーガナイザーは、ガソリンの銘柄および供給方法を指定する場合がある。この場合の詳細事項は、特別規則書又は公式通知に示す。

2. エンジンオイル：

1) 通常市販されている当該年度のC I K-F I A承認オイルのみとし、それ以外の添加物の使用は一切認められない。

2) オーガナイザーは、エンジンオイルの銘柄および供給方法を指定する場合がある。この場合の詳細事項は、特別規則書又は公式通知に示す。

3. 検査：

ガソリンおよびエンジンオイルについて、予告なく抜き打ち検査（タンク内の燃料を採取する等）を行う場合がある。

この場合、エントラントは、必ずその指示に従わなければならない。

第21条 車両検査

1. 「カート競技会参加に関する規定」第12条に基づき、車両検査が行われる。この際規則に不適合な部分がありながらも、技術委員が発見されなかった場合であっても承認を意味するものではなく、レース中にそれに関する疑義が生じた場合は旗の指示を受ける場合がある。

2. 車両検査の日時および場所は特別規則または公式通知によって示される。

3. ドライバーは、車両検査に立ち会わなければならない。

4. ドライバーの服装に関しては「カート競技会参加に関する規定」第11条を適用する。また車両検査時においては、技術委員の点検を受けるものとする。レーシングスーツは

皮製またはC I K-F I A公認またはJ A F公認のものとする。

5. 各ヒート終了時には「J A F国内カート競技車両規則」に定める必備の部品が備わっていること。

6. 「カート競技会運営に関する規定」第31条に基づき、レース後トラック上で計量が行われる。

第4章 競技に関する事項

第22条 ブリーフィング

競技長は公式練習に先立ち、競技会審査委員会の出席を得て、エントラントおよびドライバーを対象としたブリーフィングを開催する。

すべてのエントラントおよびドライバーはブリーフィングに出席し、かつ出席表に署名しなければならない。

ブリーフィングに遅刻、欠席した場合は、オーガナイザーが定める再ブリーフィング料を支払い、再ブリーフィングを受けなければならない。

第23条 公式練習

「カート競技会運営に関する規定」第23条および第24条に基づき、最低10分間の公式練習を行う。但し、ピットアウトレススタートラインを通過する前に本コースで停止した場合も、公式練習に参加したものと認められる。

第24条 タイムトライアル

1. すべてのドライバーは、タイムトライアルに参加しなければならない。タイムトライアルに参加しない場合はタイムトライアル失格とし、予選ヒートは最後尾スタートとなる。

2. タイムトライアルのグループ分け

1) 出場台数が当該競技開催コースの最大出走台数の70%（小数点以下四捨五入）以内の場合：

グループ分けはせずに7分間のタイムトライアルを行う。

2) 出場台数が当該競技開催コースの最大出走台数の70%（小数点以下四捨五入）を超える場合：

①1グループの出走台数が最大出走台数の70%（小数点以下四捨五入）を超えず、かつ可能な限り同数となる複数のグループに分けられ、各グループ7分間のタイムトライアルを行う。

②グループ分けは、競技会当日の参加確認受付時に抽選により決定し、ドライバーズブリーフィング開始時まで公式通知にて行う。

3. ドライバーは、タイムトライアルとして設定された時間内であれば任意に出走し、時間内であれば途中で停止した場合も再トライすることができる。但し、ピットに戻った場合は再トライすることはできない。

4. タイムトライアル中の計測は、コースイン後にスタート

ラインを通過したカートに対して全てのラップを計測し、ベストラップのタイムを採用する。

5. 上記4. で記録したベストラップが同タイムの場合は、当該ドライバーが記録したセカンドラップを採用する。更に同タイムとなった場合もこれに準ずる（サードラップ以降のタイム）。
6. その他の方法で行う場合は公式通知に示す。（不可抗力により上記1. ～5. が採用できない場合）

当該競技開催コースの 最大出走台数	最大出走台数を超える出場台数が あった場合の決勝出場台数
34台	28台
32台	26台
30台	25台
28台	23台
26台	21台
24台	20台

第25条 選手権競技の方式

競技は予選1ヒート、決勝1ヒートとし、決勝ヒートの結果により最終順位を決定する。出場台数によっては、予選ヒート終了後セカンドチャンスヒートを実施する。

第26条 予選ヒート

1. 予選ヒートのグリッドポジション

1) ケースA :

タイムトライアルでグループ分けが無かった場合、各ドライバーが記録した最速タイムの順番による。

2) ケースB :

タイムトライアルでグループ分け（2組）があり、一方の組の最速タイムと別の組の最速タイムの差が102%を超えない場合、出走したグループに関わらず、各ドライバーが記録した最速タイムの順番による。

3) ケースC :

タイムトライアルでグループ分け（2組）があり、一方の組の最速タイムと別の組の最速タイムの差が102%を超える場合、1位は第1組の最速タイム（総合最速タイム）とし、2位は第2組の最速タイム、3位は第1組で2番目に速いタイム、4位は第2組で2番目に速いタイム、5位は第1組で3番目に速いタイム、以下同様に決定する。

4) ケースD :

更にタイムトライアルでのグループ分け（3組以上）があった場合、上記2) および3) の原則に従い、決定する。

2. 予選グループ分けと決勝出場者の決定

1) ケースA :

出場台数が当該競技開催コースの最大出走台数以内の場合、グループ分けは行わず、ポイントの多い順に決勝出場者を決定する。

2) ケースB :

当該競技開催コースの最大出走台数を超える出場台数があった場合は、予選を2グループ以上に分けて予選ヒートを行う。2グループに分ける場合は、Aグループをタイムトライアル奇数順位、Bグループを偶数順位とし、Aグループ予選の結果、両グループのポイントの多い順に下表の通り決勝出場者を決定し、これ以下の者は予選落ちとなる。

3. ヒートポイント

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
得点	100点	90点	81点	73点	66点	59点	53点	48点	43点	39点
順位	11位	12位	13位	14位	15位	16位	17位	18位	19位	20位
得点	35点	31点	28点	25点	23点	21点	19点	17点	15点	13点
順位	21位	22位	23位	24位	25位	26位	27位	28位	29位	30位
得点	12点	11点	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点
順位	31位	32位	以下0点							
得点	2点	1点								

1) ペナルティポイントがあった場合は、下位の順位のポイントまで減算される。但し、最下位ポイントを限度とする。その他の選手の順位の移動（繰り上げ、繰り下げ）はない。

2) 失格者

失格者は最下位となる。ポイントも最下位ポイント（何名いても）となる（Aグループのグリッド数に準ずる）。

3) 不出走者

不出走者は最下位より1位下の順位のポイントとなる。但し、0点を限度とする。

4. 予選ヒートの走行距離は次の通りとし、周回数は競技会毎に示す。

FP-Jr :

15 km (または15分) 以上25 km (25分) 以内。

FP-Jr Cadets :

10 km (または10分) 以上20 km (20分) 以内。

5. 青・赤旗の採用

1) 周回遅れのドライバーおよび周回遅れになろうとしているドライバーに対し、[青・赤旗(2重対角線で区分)] が示され、予選ヒートから除外される。

2) 青・赤旗は競技長の指示によりコントロールライン上で示される。旗の提示を受けたドライバーは、その周回で車両保管場所（パルクフェルメ）に移動し、ラップされた周回のコントロールライン通過までで、レースを終了したものとする。

車両保管場所（パルクフェルメ）に移動しない場合には、黒旗（当該ヒート失格）の対象となる。

6. 決勝進出台数は当該競技開催コースの最大出走台数とし、競技会毎に示す。

第27条 セカンドチャンスヒート

1. セカンドチャンスヒートの出場資格

前条2. 2) の予選ヒートを通過しなかった者は、予選ヒートのポイントの多い順に下表の通りセカンドチャンスヒートに出場し、当該競技開催コースの最大出走台数に応じて決勝に出場する資格を得ることができる。

当該競技開催コースの最大出走台数	セカンドチャンスヒートの結果により決勝に出場できる台数
34台	上位6台
32台	上位6台
30台	上位5台
28台	上位5台
26台	上位5台
24台	上位4台

2. セカンドチャンスヒートの走行距離は次の通りとし、周回数は競技会毎に示す。
約10km（または約10分）。

第28条 決勝

1. 決勝の出場資格とグリッドポジション

1) ケースA：

- (1) 予選ヒートがケースAで実施された場合、予選を通過した者は全て決勝に出場できる。
- (2) グリッドポジションは、予選でのポイント（ペナルティポイントは減算）の多い順とし、同ポイントの場合はタイムトライアルの成績による。

2) ケースB：

- (1) 予選ヒートがケースBで実施された場合、予選を通過した者とセカンドチャンスヒートにより決勝の出場資格を得た者が決勝に出場できる。
- (2) グリッドポジションは、予選でのポイント（ペナルティポイントは減算）の多い順とし、同ポイントの場合はタイムトライアルの成績による。セカンドチャンスヒートで決勝の出場資格を得た者は、当該ヒートの順位に従い、後方の位置を占める。

2. 決勝も予選と同様のポイントシステムとし、ペナルティポイントがあった場合は減算される。決勝に限り、失格者と不出走者に対しては、ポイントは与えられない。

同ポイントの場合は着順により最終順位が決定される。

3. 決勝ヒートの走行距離は次の通りとし、周回数は競技会毎に示す。

FP-Jr：

15km（または15分）以上25km（25分）以内。

FP-Jr Cadetes：

10km（または10分）以上20km（20分）以内。

4. 青・赤旗の採用

1) 周回遅れのドライバーおよび周回遅れになろうとしているドライバーに対し、[青・赤旗（2重対角線で区分）] が示され、決勝ヒートから除外される。

2) 青・赤旗は競技長の指示によりコントロールライン上で示される。旗の提示を受けたドライバーは、その周回で車両保管場所（パルクフェルメ）に移動し、ラップされた周回のコントロールライン通過までで、レースを終了したものとする。

車両保管場所（パルクフェルメ）に移動しない場合には、黒旗（当該ヒート失格）の対象となる。

第29条 スタート進行

スタートは「カート競技会運営に関する規定」第28条2. に基づくローリングスタートとし、次の事項が適用される。

1. スタートの合図は灯火信号によって行われる。

2. スタート進行は以下に従い行われる。

- 1) 競技会特別規則書または公式通知により指定された時間に所定の待機場所に到着すること。このとき合図音およびアナウンスが放送される。
- 2) 所定の待機場所への進入はフォーメーションラップ5分前に締め切れ、**「3min」** ボードが示されるまでにカートが所定の場所に到着していなければならない。審査委員会が認めた場合を除き、5分前までに所定の待機場所に進入できなかったカートの出走は認められない。
- 3) フォーメーションラップの開始は、以下のボード提示に続いて行われる。これらのボードの提示は合図音とともに行われる。

3min

1min

30sec

- 4) **「3min」** ボードが示される時点で、ドライバーおよび当該ピット要員1名、オフィシャルを除くすべての者は当該エリアから離れなければならない。
- 5) **「1min」** ボードが示される時点で、ピット要員は当該エリアから離れなければならない。また**「1min」** ボードが示された時点からフォーメーションラップ開始時までの間であればいつでも、ドライバーはエンジンを始動することができる。

「1min」 ボード提示後は、ピット要員による援助は一切認められない。

6) **「30sec」** ボードが提示された30秒後に担当オフィシャルにより緑旗が提示され、カートはフォーメー

ションラップを開始する。

- 7) エンジン不動等によりスタートが困難なドライバーは、両手または片手を頭上に高く上げ、合図をしなければならない。この場合、黄旗を持つ担当オフィシャルが当該カート直近に立ち、フォーメーションラップ中のドライバーに警告する。
担当オフィシャルは、フォーメーションラップ開始後、スターティンググリッド上に留まっている全てのカート在所定の位置に移動する。
- 8) カートは、所定の位置にてピット要員の援助（介入）を受けエンジンを再始動することができる。次いで担当オフィシャルの指示に従いフォーメーションラップの隊列の最後尾に加わり出走できる場合がある。
3. スタートが合図される前に、約1周のフォーメーションラップを行う。フォーメーションラップ中のドライバーは、2列の隊列で低速走行し、スタートラインへ向かう。スタートライン25m手前に引かれたイエローラインを越えるまでは加速してはならない。
4. カートがスタートラインに接近する段階で赤信号が点灯し、スタート前の最終的な隊列を形成させるために、イエローライン付近にパイロンを配置することがある。
当該パイロンに故意に接触等をしたドライバーに対しては、ペナルティが課せられることがある。
5. 競技長は、フォーメーションが整いイエローライン前に加速をしていないと判断した場合、赤信号を消灯してスタートの合図を行い、パイロンが配置されていた場合は、コース委員によって配置したパイロンが撤去される。
フォーメーションとイエローライン前での加速に問題がある場合、競技長は、フォーメーションラップが更に1周行われることを合図するために赤信号の灯火を続ける（消灯しない）。
6. フォーメーションラップ中のドライバーはオーガナイザーが定める区間での追越しおよび割込みが禁止され、これに違反した者は当該ヒート失格となる。
7. フォーメーションラップ中に隊列のペースを乱す者があった場合は白・黒旗が示される。フロントローでそれが繰り返された場合は最後尾に繰り下げられる場合がある。
8. フォーメーションラップ中に隊列から遅れた者が隊列の前に出て待つような行為をしてはならない。
9. フォーメーションラップ中に隊列から大きく遅れ、競技長により指示（白地に赤のバツテンのボード表示）された者およびフォーメーションラップ中にピットインした者と周回遅れの者は最後尾に着かなければならない。
10. フォーメーションラップ中にコースをショートカットすることは禁止される。
11. フォーメーションラップ中にポールまたはセカンドのカートが停止または遅れてもローリングは続行される。その際は先頭にいる者にローリングのペースを保つ義務が生じる。

12. スタート後、先頭のカートが1周するまでにスタートラインを越えないカートは、そのヒートを出走することはできない。

第30条 その他競技に関する一般事項

1. 旗の信号については「カート競技会運営に関する規則」第13条に従う。但し、スタート合図は灯火信号を用いる。
2. コースアウトに対するペナルティは競技長の判断による。
3. 走路審判員が反則または妨害行為とみなしたものについては、ペナルティが課される。更にその行為が、2回以上に及ぶときは失格とする。
4. ドライバー・サインは次の通りとし、これを怠った者に対しては、ペナルティが課せられることがある。
 - 1) コース上で停止した場合のサインは、両手もしくは片手を頭上に高く上げる。
 - 2) ピットイン・ピットアウトのサインは片手を頭上に高く上げる。
 - 3) 黄色の山型を付した緑色旗（ミススタート）が示された場合は各自、片手を頭上に上げ、スピードダウンし、元のローリングスタート時のポジションに戻るものとする。
 - 4) スローダウンするドライバーは、片手を高く上げる。
5. 公式練習、タイムトライアルおよびレース中（フォーメーションラップを含む）、スピン等で車両が停止した場合は、他を妨害することなく、後続車両通過後、またはコース委員の指示があり、自力で再発進できる場合にのみレースに復帰できるものとする。但し、カートから降車すること、および自力でカートを押してエンジンを始動することは認められない。復帰するための最小限の方向転換は認められる。
6. 公式練習、タイムトライアルおよびレース中（フォーメーションラップを含む）、リタイヤしたドライバーは、他を妨害することなく、後続車両通過後、またはコース委員の指示により、自分の車両を速やかに安全な場所に移動し、そのヒートが終了するまで「カート競技会参加に関する規定」第11条に規定する装備一式を着用し、車両から離れてはならない。
7. レース中は、コースを外れてショートカットすることは認められず、当該行為はコースアウトとみなされ、ペナルティの対象とする。
8. 工具の持込みおよび工具を用いた修理等は、指定されたエリア（ピットおよびパドック）を除き、一切禁止される。
9. 競技中の燃料補給は禁止する。
10. レース着順1位の者がフィニッシュラインを通過後2分以内に、カートが自力で同ラインを通過したものは、そのラップが加算される。完走者となるためには、チェッカーにかかわらず、規定周回数の1/2以上を完了しなければならない。
11. レースの順位は次の順序により、周回数の多い順に決

定される。

- 1) チェッカーを受けた完走者（規定周回数の1/2以上を完了し、チェッカーを受けた者）。
 - 2) チェッカーを受けない完走者（規定周回数の1/2以上は走行したが、チェッカーを受けなかった者）。
 - 3) 不完走者（チェッカーにかかわらず、規定周回数の1/2以上を走行していない者）。
 - 4) 同周回数の場合は、その周回を先に完了（コントロールライン通過）した者を優先する。
12. レースは着順によるものとし、計時を行わない場合がある。
13. 競技中において、前方の競技ナンバープレートが脱落若しくは脱落しそうな場合はオレンジディスクのある黒旗（番号を添えて提示）が振られる。それに該当するカートは必ず1度ピットインして競技ナンバープレートを取付け直すこと。
14. パドックエリア、ウェイティンググリッドおよびオーガナイザーが指定したエリアにおけるエンジンの始動および作動については、カートが走行可能な装備等を具備し、リアタイヤが地面に接地した状態（リアタイヤが地面に常に接触した状態）でのみ認められる。
15. ジュニア選手権競技の成立とは、部門毎に5台以上の車両が出場しなければならない。5台に満たない場合は、その部門の選手権は成立しない。
なお、この場合における出場とは、予選ヒートのスタートの際に5台以上のカートがコントロールラインを越えることをいう。
以上の条件を満たした時、ジュニア選手権競技は成立する。
16. 各ヒートは、規定周回数の60%以上が消化された場合、当該レース（ヒート）が成立する。
17. 消火器携帯の義務について
各ドライバーは全ての競技会において、下記条件を備えた消火器を1本以上備えていなければならない。
また、ピット、パドックでの火気厳禁徹底に努めなければならない。

【携帯用消火器の条件】

■種類：ABC粉末タイプ

■大きさ：4型（内容量1.2kg）以上

第31条 審判員

- 1) 国内競技規則10-20に基づく審判員の判定事項は、本統一規則に関する事項とする。
- 2) 審判員の氏名は、公式プログラムまたは公式通知で示される。

第5章 ピットに関する事項

第32条 ピットイン

ピットインする場合はピットロードを徐行しなければな

らず、かつ必ずピットストップし、エンジンを停止しなければならない。これに違反した場合は当該ヒート失格となる。

第33条 ピットでの作業

ピットは指定された場所を使用しなければならない（競技長から指示があった場合を除く）。またピット内で作業し得るものは当該部門に出場しているドライバーとピット要員のみとし、ピット要員は指定されたクレデンシャルを装着しなければならない。走行中のドライバーに対してピット・サインを送る場合は、ピット要員1名に限り各自のピット・エリア内においてのみ表示することができる。

レース中燃料の補給をしてはならない。

第34条 ピット要員

「カート競技会参加に関する規定」第18条に基づき、ピット要員の行為に関する最終的な責任はエントラントに帰属するが、レース中における場合は、ドライバーに直接統轄の責任があるものとする。ピット要員による規則の違反は、当該ドライバーに対する黒旗の指示となることがある。

第35条 ピット内

ピットにおける火気の使用を禁止する。燃料の容器は20ℓ以内の消防法に適合した金属製の携行缶でなければならない。

第36条 レース中のピット要員

レース中ピット要員は、自己のピットを離れてはならない。

第37条 車両保管

レース終了後の車両保管および車両検査は、次の通りとする。

1. 車両保管および再車両検査を行う。保管が解除になったカートは、エントラントが速やかに引取らなければならない。
2. 決勝ヒート終了後保管時間は30分以上、所定の場所で行われる。
3. 技術委員長は、スタートしたすべての車両に関し検査を行う権限を保有するものとする。技術委員長が検査を行う際は、エントラントもしくはその代理人が、責任をもって車両の分解および組立てを行わなければならない。

但し、関係役員、エントラントおよびドライバー以外は検査に立ち会うことはできない。

上記に対する違反は、競技長によって勧告され、審査委員会によりペナルティが課せられる場合がある。

第6章 ペナルティに関する事項

第38条 ペナルティ

1. ペナルティは次の6種がある。
 - 1) 警告
 - 2) 罰金
 - 3) タイムペナルティ
 - 4) ポイントペナルティ
 - 5) ラップペナルティ
 - 6) 失格 (当該タイムトライアル、ヒート、またはレースの失格)
2. 警告はその必要ありと認められた軽反則に対して発せられる。
3. 罰金は成績に対するペナルティには至らない違反に適用される。
4. タイムペナルティは失格には至らない違反に適用される。
5. ラップペナルティは、失格には至らない違反に適用される。
6. ポイントペナルティは失格には至らない違反に対し予選ヒートおよび決勝ヒートに適用される。
7. 失格は次の反則行為に課せられる。
 - 1) 規則に反してまたは不当に得たアドバンテージ。
 - 2) 故意に自己または他人の安全を省みることなく行う危険行為。
 - 3) 与えられたオフィシャル指示を故意に無視した際。
 - 4) 与えられたフラッグサインの無視。

＜ペナルティの例＞

- (1) エントリーの遅れ (オーガナイザーが認めた場合、但し2週間前まで)
 - ⇒遅延賠償 (事務局手数料)
 - (2) 当日受付確認の遅れ (オーガナイザーが認めた場合、但し公式練習まで)
 - ⇒タイムトライアルに1秒加算
 - (3) 車検の遅れ (オーガナイザーが認めた場合、但し公式練習開始まで)
 - ⇒タイムトライアルに1秒加算
- 以降本規則第49条による。
- (4) 重量違反
 - ⇒当該タイムトライアル、ヒート等の失格
 - (5) 燃料違反
 - ⇒レース失格
 - (6) 服装違反 (車検時に判明した場合)
 - ⇒着順から3位下 (3つ下) の順位のポイント
 - (7) 各ヒート終了時に国内カート競技車両規則に定める必備の部品が脱落の場合
 - ⇒当該ヒート失格
 - (8) 公式練習に参加しなかった場合
 - ⇒レース失格
 - (9) フォーメーションラップ中の指定区間での追越し、割込み違反
 - ⇒当該ヒート失格
 - (10) フォーメーションラップ中に隊列のペースを乱した

場合 (警告旗の後)

- ⇒着順から3位下 (3つ下) の順位のポイント
 - 同行為をフロントローが繰り返した場合
 - ⇒最後尾に繰り下げ
- (1 1) スタート時のフライング (警告旗またはミススタート旗の後)
 - ⇒1周減算
 - (1 2) プッシング、極度のブロッキング (警告旗の後)
 - ⇒着順から3位下 (3つ下) の順位のポイント
 - 同行為が著しい場合
 - ⇒当該ヒート失格
 - (1 3) ショートカットとなるコースアウト
 - ⇒1周減算
 - (1 4) 黄旗時の追い抜き (公式練習、タイムトライアル)
 - ⇒タイムトライアルの結果に4秒加算
 - (1 5) 黄旗時の追い抜き (予選ヒート、決勝ヒート)
 - ⇒1周減算
 - (1 6) 黒旗の無視
 - ⇒レース失格
 - (1 7) オレンジディスクのある黒旗の無視
 - ⇒当該ヒート失格
 - (1 8) レース中のコース内での他者の援助 (メカニックの立ち入り援助を含む)
 - ⇒当該ヒート失格
 - 公式練習の場合はタイムトライアルに4秒加算
 - (1 9) 工具携帯走行
 - ⇒レース失格
 - (2 0) ピットロード徐行違反
 - ⇒当該ヒート失格
 - (2 1) 指定エリア (ピット、パドック) 以外で作業した場合
 - ⇒当該ヒート失格
 - (2 2) ピット要員のオフィシャル指示に対する違反
 - ⇒当該ドライバーのレース失格
 - (2 3) エンジン始動・作動違反
 - ⇒警告または相応の罰則
 - (2 4) これらを含みその他のペナルティについては、特別規則書または公式通知等にて通知もしくは競技長によって勧告され、審査委員会により課される。
 - (2 5) コース上に停止し、コース委員の指示に従わなかった場合、またコース委員の指示に従わずにエンジンを再始動した場合
 - ⇒当該ヒート失格
 - (2 6) 公式練習およびタイムトライアルを除き、チェッカー後フィニッシュラインを通過したカートのフロントフェアリングが正しい装着状態でなかった場合
 - ⇒タイムに10秒加算 (F P - J r 部門のみ適用)
 - (2 7) フロントフェアリング装着に関する不正行為

⇒レース失格（F P - J r 部門のみ適用）

第7章 抗議に関する事項

第39条 抗議の提出

- 「JAF国内カート競技規則」第40条に基づき、書面をもって抗議料を添付の上、エントラントより競技長に提出するものとする。
- エントラント、または当該エントラントが文書で正式に指名した代理人のみが抗議権を有する。
- 「JAF国内競技規則」10-20に従ってなされた審判員の判定、計時装置および音量測定結果、第38条（26）および（27）により課されたペナルティに対する抗議は認められない。
- 提出された抗議により再車検等を実施し、その抗議が成立した場合には再車検等に要した費用ならびに分解組み立ての費用は、被抗議者であるエントラントまたはドライバーの負担とし、これと反対に当該車両等が規則通りのものであることが判明した場合は抗議提出者がそれらの費用を負担しなければならず、費用の算定については技術委員長に委ねられる。

第40条 抗議提出の時間制限

- 技術委員または車両検査委員の決定に対する抗議は、決定直後とする。
- 競技中の過失または反則に対する抗議は、その競技の終了後30分以内とする。
- 競技の成績に関する抗議は、その発表後30分以内とする。

第41条 抗議料

20,900円

第8章 成績および賞典に関する事項

第42条 成績および賞典

- 決勝ヒートの結果により決定する。
- 賞典はドライバーに対して行われる。

第9章 得点

第43条 得点基準

本選手権競技会のドライバーに与えられる得点は下表aを適用する。得点は決勝ヒートの完走者にのみ与えられ不完走者、失格者および不出走者には与えられない。

（表a）

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

得点	25点	22点	20点	18点	16点	15点	14点	13点	12点	11点
順位	11位	12位	13位	14位	15位	16位	17位	18位	19位	20位
得点	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

但し、競技会出場台数（予選ヒート出走台数）に応じて下表bの通り得点の対象となる順位が制限される。

（表b）

出場台数	得点対象順位	出場台数	得点対象順位
40台以上	20位まで	22～23台	11位まで
38～39台	19位まで	20～21台	10位まで
36～37台	18位まで	18～19台	9位まで
34～35台	17位まで	16～17台	8位まで
32～33台	16位まで	14～15台	7位まで
30～31台	15位まで	12～13台	6位まで
28～29台	14位まで	10～11台	5位まで
26～27台	13位まで	8～9台	4位まで
24～25台	12位まで	5～7台	3位まで

※当該年の日本カート選手権規定第6条および第50条による。

※東西統一競技会の得点は上表aの得点の1.5倍とする。

第10章 広告に関する事項

第44条 広告

ナンバープレートに広告を表示することは認められない。その他の広告については、オーガナイザーは、次のものに関し抹消する権限を有し、かつドライバーはこれを拒否することができない。

- 公序良俗に反するもの。
- 政治・宗教に関連したもの。
- 本競技会に関係するスポンサーと競合するもの。

第12章 その他一般事項

第45条 エントラントおよびドライバーの遵守事項

- エントラントは、自己の参加に係わるすべての者に、すべての法規および規則を遵守させる責任を有する。
- エントラント、ドライバーおよびピット要員は本統一規則の下で開催される競技会中に生じた事態について、本連盟ならびにその所属員および競技役員に対していかなる責任も追及しないこと。
- エントラントおよびドライバー等のチーム関係者は、オーガナイザーまたは審査委員会によって事情聴取を受けた場合は、指示があるまで会場を離れないこと。
- 指定された場所以外での喫煙は禁止される。
- 競技期間中に競技開催コースにおいて、エントラント、

ドライバーおよびピット要員が飲酒することは禁止される。

6. エントラント、ドライバーおよびピット要員は、スポーツマンらしからぬ行為、不謹慎な言葉遣い、あるいは競技を妨害する行為をとった場合、当該競技会失格とする。

第46条 コースへの立ち入り

1. 競技会特別規則の組織図に予定されている競技役員およびASNのみがコースに立ち入る権利を有する。
2. プレス代表者は、オーガナイザーに対し特に申請し、許可を得た場合以外はコースに立ち入ることはできない。更に競技役員によって与えられた指示に従わなければならない。

第47条 誓約書の署名

エントラント、ドライバー、ピット要員は参加申込用紙に記載された誓約文に署名捺印しなければならない。

第48条 本統一規則の解釈

本統一規則並びに競技の細則に関する解釈に疑義が生じた場合は、審査委員会の決定を最終的なものとみなす。

第49条 本統一規則の違反

1. 本統一規則に対する違反の罰則は審査委員会の決定により宣告される。
2. 日本カート選手権競技に適用される規則に違反した者に対し、JAFは罰則を課す場合がある。
3. 年齢、ライセンス等、出場資格に制限のある日本カート選手権競技で、その資格に違反してエントリーしたことが競技会開始後に判明したドライバーについて、JAFは当該年度の選手権の全得点を無効とする場合がある。

第50条 本統一規則の施行ならびに記載されていない事項

1. 本統一規則は当該年の1月1日より施行する。
2. 本統一規則に記載されていない事項については、FIA国際モータースポーツ競技規則と国際カート規則、それに準拠したJAF国内競技規則、JAF国内カート競技規則とその付則に準拠する。
3. 本統一規則発行後、JAFにおいて決定された事項は、すべての規則に優先する。

以上

ジュニアカート選手権FP-Jr部門/ FP-JrCadets部門適用車両規定

1. ワンメイクエンジンの機種：
ヤマハ発動機株式会社製KT100SEC
2. 配付されるエンジンの範囲：
 - (1) 配付されるもの
 - ・エンジン（セル付、クラッチ組込み済）
FP-JrCadets部門のエンジンには、シリンダーヘッドガスケットが3枚装着される。
 - ・キャブレター周辺部品
キャブレターガスケット
ジョイントキャブレター
FP-Jr部門：26.0φmm
(787-13586-00・787-13586-01)
FP-JrCadets部門：14.5φmm
(7YU-13586-09)
マニホールド 7YA-13585-00
ジョイントエアクリーナー1 7YF-14453-03
 - ・吸気消音器取り付け用フランジ
 - ・ドライブsprocketは11T（219チェーン用）を装着してデリバリーする。
ただし、一部開催コースで10Tを装着してデリバリーする場合がある。
※配付されるエンジンは、予め封印が施されており、分解等は行ってはならない。
※ドライブsprocketの変更、点火時期の変更、クラッチの脱着も禁止する。
 - (2) 参加者が用意するもの
 - ・キャブレター（WB3A、WB21、WB33）
キャブレターアッセンブリ、キャブレターガスケット、ジョイントキャブレター、マニホールド、ジョイントエアクリーナーの改造は一切禁止される。但し、上記型式のキャブレター部品（全てのガスケット、全てのダイヤフラムとハイ&ローニードルバルブ、スプリングなどの構成部品及びヤマハ純正オプションパーツ）であれば、交換が認められる。また、チョークレバーを取り外し、穴を埋めることは認められる。
 - ・エキゾーストパイプ（ヤマハ発動機株式会社製KT100SD純正品）
各寸法は当該エンジンの公認書記載数値通りとし、許容公差は当該年のJAF国内カート競技車両規則第29条の通りとする。エキゾーストガスケット及びジャバラは純正部品以外の使用が認められる。ただし、ジャバラは内径に変化のあるものおよび整流板などが取り付けられたものの使用は禁止する。

- マフラー（ヤマハ発動機株式会社製KT100SD純正品）

各寸法は当該エンジンの公認書記載数値通りとし、許容公差は当該年のJAF国内カート競技車両規則第29条の通りとする。但し、エキゾースト側先端から排出側コーン（円錐）先端部までの寸法および許容公差は±6mmとする。

- 吸気消音器（CIK-FIA登録、公認または公認実績品の吸気消音器又はヤマハ純正吸気消音器）吸気消音器本体（取付部品を除く）の改造は禁止され、吸気孔の1つの穴の大きさはφ23mm以下とする。
- エンジンマウント
- セル用電装部品（バッテリー、スイッチ、ワイヤーハーネス等）

(3) 特別事項

オーガナイザーは、その他の部品（上記2.の1）および2）を含む）について、仕様等を指定する場合があります。この場合の詳細事項は、特別規則書又は公式通知に示す。

3 配付されるエンジンの数

ドライバー1名につき1基。

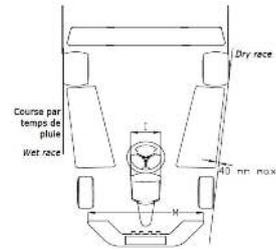
- 4 配付される期間：各競技会の決勝ヒート前日の朝から正式競技結果発表まで貸し出し（決勝ヒート前日の夕刻に一旦回収し、決勝ヒート当日の朝まではオーガナイザーが保管）

※詳細については、各競技会のタイムスケジュールによる。

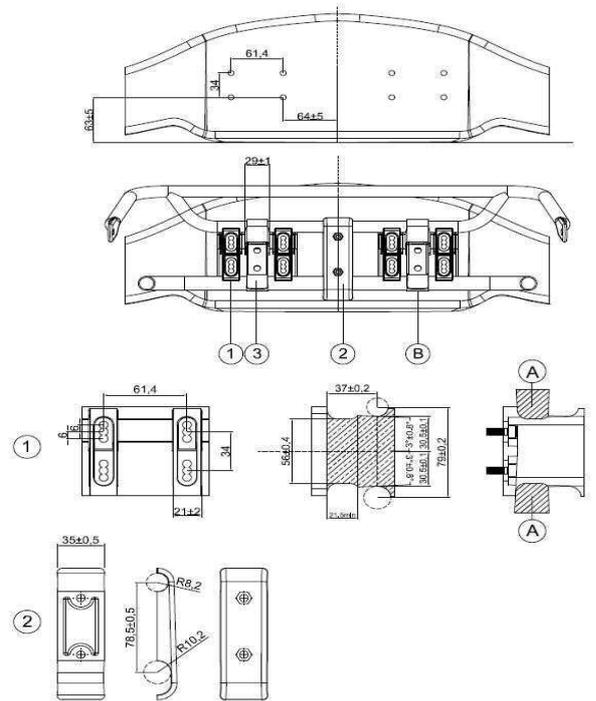
- 5 配付されるエンジンの使用料：競技会毎に発行される特別規則書に定める。（シリーズ統一料金）
- 6 FP-JrCadets部門のドライタイヤに使用できるホイールは、リムの内側の寸法でフロント最大130mm、リヤ最大150mmとする（公差+1mm）
- 7 FP-JrCadets部門のリヤプロテクションは、下記「2017年JAF国内カート競技車両規則抜粋（参考）」を満たす一般市販品とする。
- 8 ボディワーク

FP-Jr部門のボディワークは、OK部門適用車両規定の2ボディワークを適用する。

以上



2015-2020 CIK-FIA公認フロントフェアリング取り付け方式



- A…この領域にはいかなる部品も（例えばネジであっても）許されない。
- B…フッククランプは工具を用いることなく手で開け閉めできること。

フロントフェアリング取付キットを使用してフェアリングをカートに取り付けることのみが認められる。他の手段は認められない。フロントフェアリングは、自由にシャシーの方向へ後退できなければならず、その動きを制限するような部品による妨げがあってもならない。

フロントバンパー（上下パイプ）はシャシーに強固に結合され、表面が平坦でなければならぬ。フロントバンパーの摩擦を最大化するようないかなる機械加工やその他の作業は厳重に禁止される。

フロントバンパー（上下パイプ）とフロントフェアリングの間隔は、如何なる時も全ての箇所において最少27mmなければならぬ。

フロントフェアリング取付キットの定義

1. フロントフェアリング用取付一式（2点+8本のネジ）
2. フロントバンパーサポート（2つのハーフシェル+2本のネジ）
3. 調整可能なフッククランプ（2点、金属製のこと）

下記の各部品にCIKロゴおよび公認番号の浮き彫りがあること。

2017年JAF国内カート競技車両規則（抜粋）

第2章 一般規定

第7条 バンパー

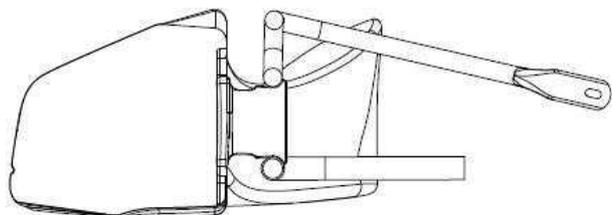
5. リアプロテクション

- 13) 如何なる状況下においても、リアプロテクションは、リアホイール水平面からはみ出してはならない。

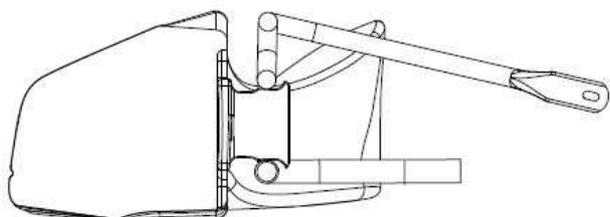
1. フロントフェアリング用取付具一式（2点はプラスチック製のこと）
2. フロントバンパーサポート（2つのハーフシェルはプラスチック製のこと）

<技術図面No. 2d>

[正しい装着状態]



[許容できる装着状態]



[正しくない装着状態]：フロントバンパーのバーが、矢印で示す斜線の領域内にある状態

